

第4回川口商工会議所リアルタイム景況調査
調査報告書（2015年10-12月期）



平成28年2月
川口商工会議所

リアルタイム景況調査実施要項

1. 調査目的

本調査は、市内会員企業（中小企業、小規模事業者）の景況感や、課題等を広く聴取し、データの集積及び周知、強いては要望事項の取りまとめに供するために実施するものである。

2. 調査時期

原則 4 半期に 1 回実施する。（年 4 回）

3. 第 4 回景況調査実施期間

2016 年 1 月 27 日（水）～2 月 2 日（火）

4. 調査方法

FAX による送付、FAX による回答

5. 調査対象

従業員数 5 人以上の会員事業所 2,096 社（FAX 登録有り）
（商工会議所常設 9 部会）
鋳物工業部会、機械工業部会、一般工業部会
建設不動産部会、小売商業部会、流通業部会
環境衛生業部会、サービス業部会、金融保険業部会

6. 回収数

265 件回収/2096 件（回収率 12.6%）

※前回（第 3 回）：291 件回収/2,212 件（回収率 13.1%）



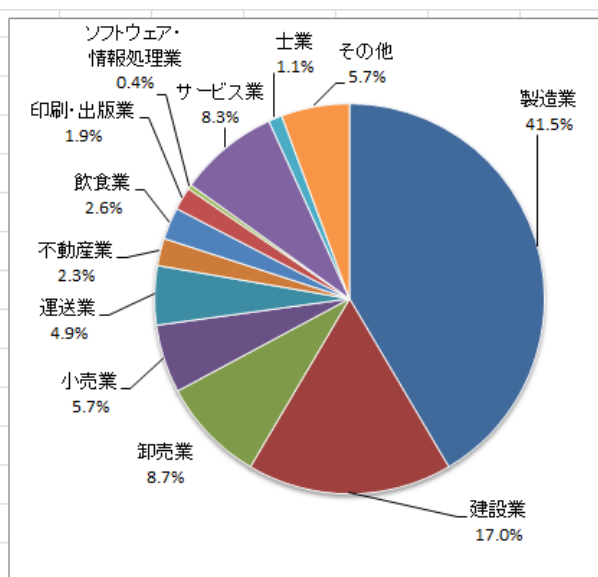
【目次】

調査概要	P 2
基本調査	P 3
属性分析	P 1 6
調査票	P 3 0

問1. 回答者属性

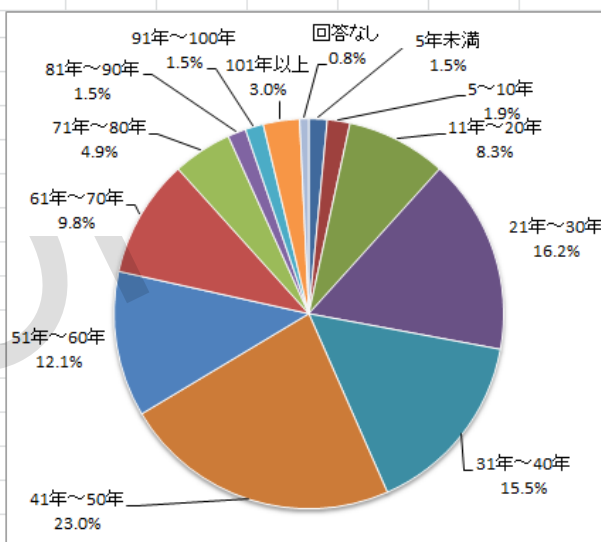
(1) 業種

(1)業種		
業種	回答数	構成比
製造業	110	41.5%
建設業	45	17.0%
卸売業	23	8.7%
小売業	15	5.7%
運送業	13	4.9%
不動産業	6	2.3%
飲食業	7	2.6%
印刷・出版業	5	1.9%
ソフトウェア・情報処理業	1	0.4%
サービス業	22	8.3%
士業	3	1.1%
その他	15	5.7%
総計	265	100.0%



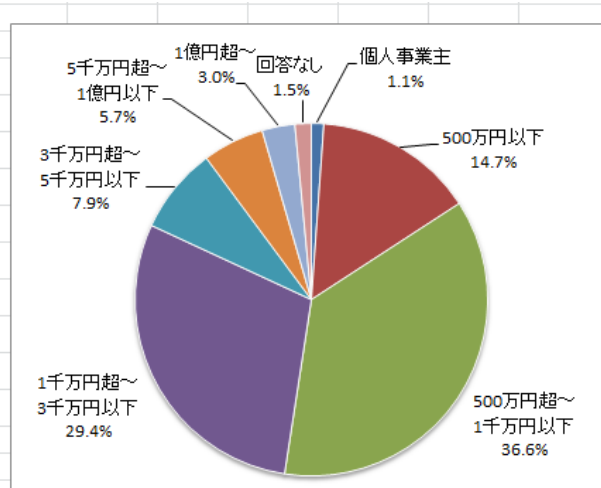
(2) 業歴

(2)業歴		
業歴	回答数	構成比
5年未満	4	1.5%
5～10年	5	1.9%
11年～20年	22	8.3%
21年～30年	43	16.2%
31年～40年	41	15.5%
41年～50年	61	23.0%
51年～60年	32	12.1%
61年～70年	26	9.8%
71年～80年	13	4.9%
81年～90年	4	1.5%
91年～100年	4	1.5%
101年以上	8	3.0%
回答なし	2	0.8%
総計	265	100.0%

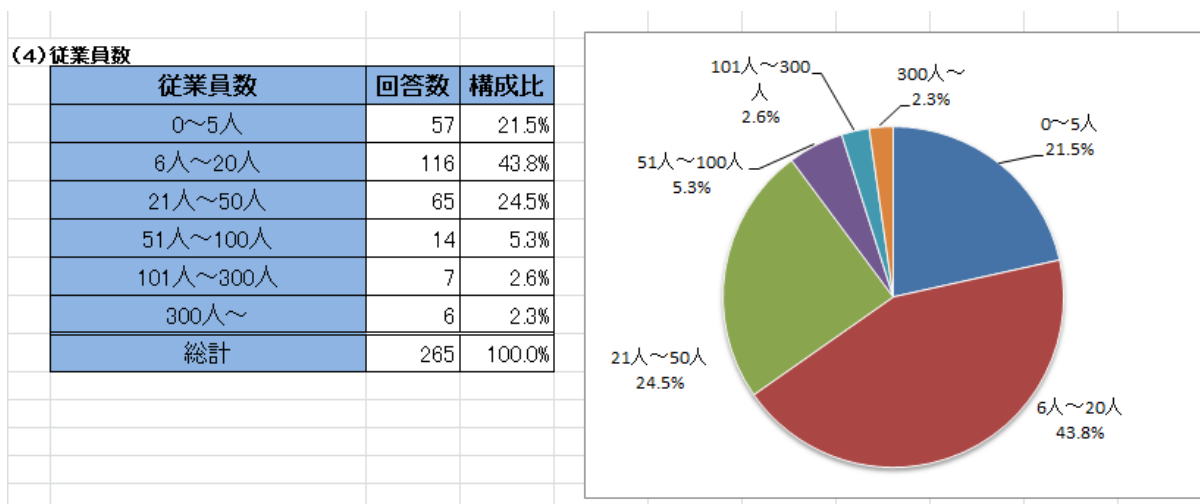


(3) 資本金

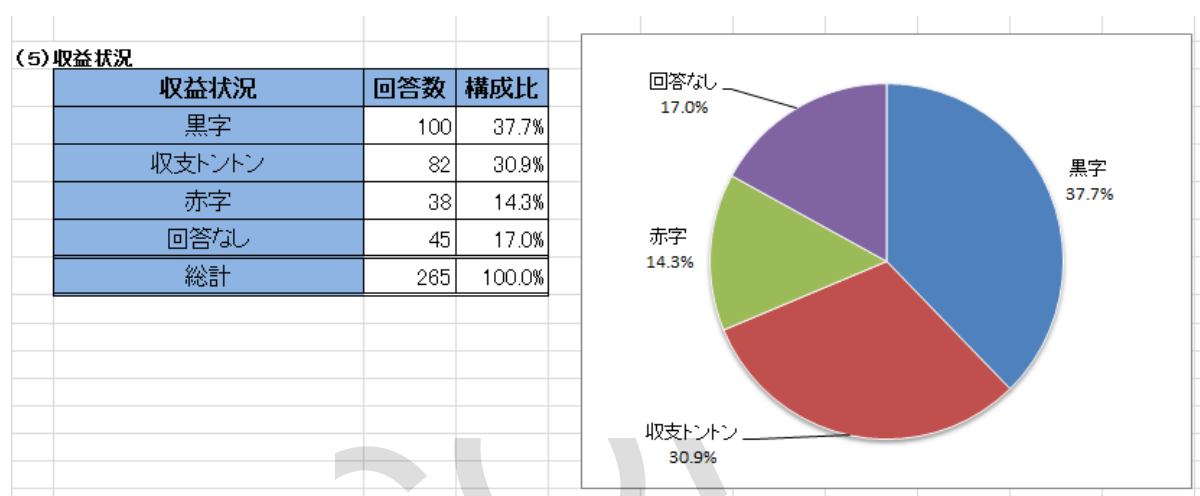
(3)資本金		
資本金	回答数	構成比
個人事業主	3	1.1%
500万円以下	39	14.7%
500万円超～1千万円以下	97	36.6%
1千万円超～3千万円以下	78	29.4%
3千万円超～5千万円以下	21	7.9%
5千万円超～1億円以下	15	5.7%
1億円超～	8	3.0%
回答なし	4	1.5%
総計	265	100.0%



(4) 従業員数



(5) 収益状況



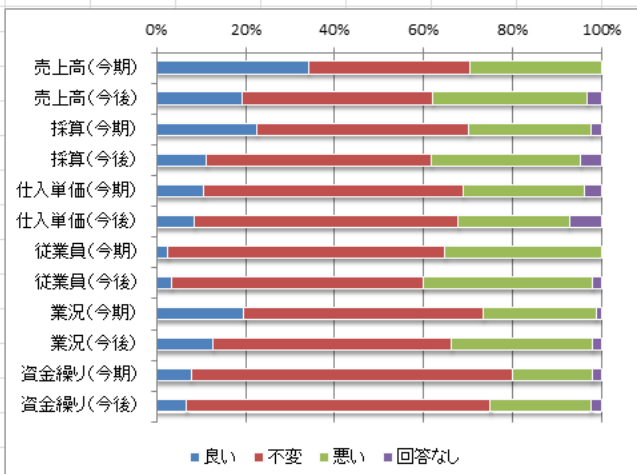
川口市の企業における今期 10-12 月の「収益状況」は、黒字が 37.7% (前期 7-9 期:45.7%)、収支トントン 30.9% (同 : 26.8%)、赤字 14.3% (同 : 14.4%)、回答なし 17.0% (同 : 13.1%) となっており、黒字の回答企業が 8.0% 減少しました。

属性別にみると、「業種別」では製造業、建設業、卸売業、運送業、不動産業、サービス業、士業の 7 業種で「黒字」、小売業、飲食業、印刷・出版業で「収支トントン」と回答する企業が多数です。また、「業歴別」では 5 年～50 年の 5 階層、81 年～100 年の 2 階層で「黒字」、61 年～80 年、101 年以上の 3 階層で「収支トントン」、51 年～60 年のみ「赤字」の回答が多数でした。5 年未満と回答なしでは回答が分かれています。また、「資本金別」では 500 万円超～5 千万円以下、および 1 億円超の 4 階層で「黒字」、500 万円以下が「収支トントン」の回答が多数、個人事業主と 5 千万円～1 億円以下では回答が分かれています。「従業員別」は前期同様 0～5 人では「収支トントン」ですが、6 人以上～300 人～、の 5 階層ではすべて「黒字」の回答が多数となっています。

今回の調査の概要

10-12月は売上高、採算、仕入単価、業況、資金繰りが改善したものの従業員不足はさらに深刻化。先行き見通し（1-3月）では、一転してすべての項目が悪化する見込み。

「今期」は平成27年10月～12月 「今後」は平成28年1月～3月					
景況感アンケート項目	良い	不変	悪い	回答なし	総計
売上高(今期)	91	96	78		265
売上高(今後)	51	114	92	8	265
採算(今期)	60	126	73	6	265
採算(今後)	30	134	89	12	265
仕入単価(今期)	28	155	72	10	265
仕入単価(今後)	23	157	66	19	265
従業員(今期)	7	165	93		265
従業員(今後)	9	150	101	5	265
業況(今期)	52	143	67	3	265
業況(今後)	34	142	84	5	265
資金繰り(今期)	21	191	48	5	265
資金繰り(今後)	18	181	60	6	265



各項目のDIの推移

	前々期DI	前期DI	今期DI	先行きDI
	2015年4-6月	2015年7-9月	2015年10-12月	2016年1-3月
2-1. 売上高DIの比較(「増加」-「減少」)	▲1.2	0	4.9	▲15.5
2-2. 採算DIの比較(「好転」-「悪化」)	▲11.2	▲10.4	▲4.9	▲22.3
2-3. 仕入単価DIの比較(「下落」-「上昇」)	▲41.9	▲29.2	▲16.4	▲16.2
2-4. 従業員DIの比較(「不足」-「過剰」)	20.5	23.7	32.5	34.7
2-5. 業況DIの比較(「好転」-「悪化」)	▲8.1	▲9.6	▲5.7	▲18.9
2-6. 資金繰りDIの比較(「好転」-「悪化」)	▲9.3	▲11.0	▲10.2	▲15.8

企業の景況感は前期に比べて売上高DI、採算DI、仕入単価DI、業況DI、資金繰りDIが改善しました。売上高DIは前期0から4.9とプラスに転じました。採算DIは前期▲10.4から▲4.9に改善しました。仕入単価DIは▲29.2から▲16.4と大きく改善しましたが、それに比べると業況DI、資金繰りDIの改善の幅は小さく、実態としては前期とほぼ横ばいの状況といえそうです。反面、従業員DIは3期連続で悪化しており、前期23.7から今期32.5と大幅に悪化。人材の不足が深刻化しています。

業種別の多数回答（今期）

※アミカケ：黄色はポジティブ、グレーがネガティブ、空欄は回答が分かれているもの

今期:平成27年10~12月						
業種	売上高	採算	仕入単価	従業員数	業況	資金繰り
製造業	減少	不変	不変	不変	不変	不変
建設業	不変	不変	不変	不変	不変	不変
卸売業	増加	不変	不変	不変	不変	不変
小売業	不変	不変	上昇	不変	不変	不変
運送業	増加	不変	下落	不足	不変	不変
不動産業		不変	不変		不変	不変
飲食業	増加	好転	上昇	不変		不変
印刷・出版業		好転	不変	不変		不変
ソフトウェア・情報処理業	減少	悪化	不変	不足	不変	不変
サービス業	不変	不変			不変	不変
土業	不変		不変	不変	不変	不変
その他	減少	不変	不変	不変	不変	不変
回答なし						

業種の特徴では、製造業は売上高では「減少」の回答が多数ですが、その他の項目では前期 7-9 月に続き「不変」の回答が多数でした。建設業は「不変」の回答が多数ですが、前期 7-9 月で売上高が「減少」、採算も「悪化」、仕入単価が「上昇」のため、実態は悪化のまま推移しています。卸売業は売上高が「増加」、運送業は売上高が「増加」、燃料費の仕入単価も「下落」したものの従業員が「不足」、採算は「不変」の回答が多数でした。飲食業は前期 7-9 月に続き仕入単価が「上昇」したものの売上高が「増加」、採算が「好転」の回答が多数でした。一方、ソフトウェア・情報処理業で売上高、採算、従業員数で「悪化」の回答が多数でした。サービス業も「不変」の回答が多数ですが、前期 7-9 月で売上高が「減少」、採算も「悪化」のため、実態は悪化のまま推移しています。

一方、先行きの見通しでは全 6 項目で「悪化」する見込みです。特に売上高 D I、採算 D I、業況 D I では 10 ポイント以上の落ち込み幅となっています。

業種別の多数回答（先行き）

※アミカケ：黄色はポジティブ、グレーがネガティブ、空欄は回答が分かれているもの

今後：平成28年1～3月						
業種	売上高	採算	仕入単価	従業員数	業況	資金繰り
製造業	不変	不変	不変	不変	不変	不変
建設業	不変	不変	不変	不足	不変	不変
卸売業	不変	不変	不変	不変	不変	不変
小売業	不変	不変	上昇	不変	不変	不変
運送業	減少		不変	不足	不変	不変
不動産業	不変	不変	不変	不変	不変	不変
飲食業	不変		上昇	不足	不変	不変
印刷・出版業	減少	悪化	不変	不変		不変
ソフトウェア・情報処理業	増加	好転	不変	不足	不変	不変
サービス業	不変	悪化		不足	不変	不変
土業			不変	不変		不変
その他	不変	不変	不変	不変	不変	不変
回答なし						

業種の特徴では、従業員で「不足」の回答が多数の業種が運送業、ソフトウェア・情報処理業の 2 業種だったのが、先行きでは建設業、運送業、飲食業、ソフトウェア・情報処理業、サービス業の 5 業種に広がりました。また、小売業、飲食業の仕入単価は今期に続き先行きも「上昇」の回答が多数となっています。製造業はすべての項目で「不変」の回答が多数となっています。運送業の売上高は今期では「増加」から先行きでは「悪化」と回答が多数となった一方、ソフトウェア・情報処理業の売上高は今期「減少」から先行きは「増加」、採算は今期「悪化」から先行きは「好転」の回答が多数でした。印刷・出版業は売上が「減少」、採算が「悪化」の回答が多数となっています。

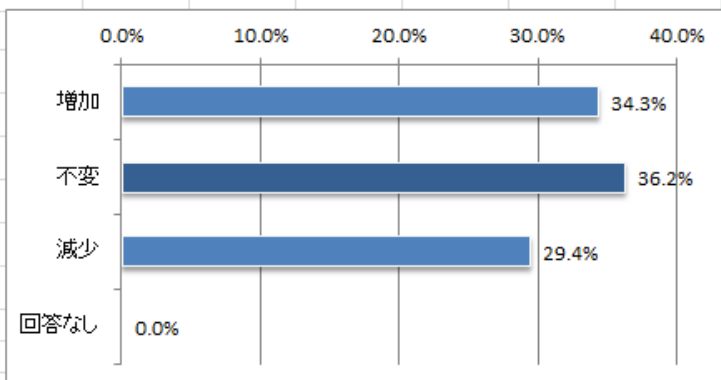
2016 年年明けからの中国経済の減速や石油価格の下落による産油国、新興国経済の悪化などの影響により、日本経済もこれまでの円安・株高から一転して円高・株安となったことによる先行きへの懸念が、調査結果からもうかがえます。調査期間中の 1 月 29 日に日銀がマイナス金利を導入したものの、その後も円相場は 1 ドル 113 円台、株価は 15,000 円割れと景気減速感がますます強まっています。今後の実体経済の変化が川口市の企業経営にどのような影響を与えるのか、次回調査の結果が注目されます。

問2. 景況感について

2-1. 売上高

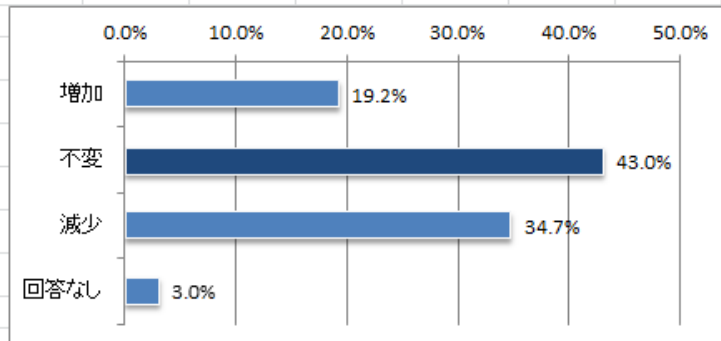
売上高(1) 今期(7-9月と比べ)

売上高(今期10-12月)	回答数	構成比
増加	91	34.3%
不変	96	36.2%
減少	78	29.4%
回答なし	0	0.0%
総計	265	100.0%



売上高(2) 今後の先行き見通し(1月~3月)

売上高(今後の見通し)	回答数	構成比
増加	51	19.2%
不変	114	43.0%
減少	92	34.7%
回答なし	8	3.0%
総計	265	100.0%



今期 10-12 月の川口市の企業の売上高は、「増加」が 34.3%（前期 7-9 月：30.6%）、「不変」が 36.2%（同：36.4%）、「減少」が 29.4%（同：30.6%）となっており、前期よりやや「増加」の傾向が見られます。

「増加」と回答が多数の階層は「業種別」では卸売業、運送業、飲食業の 3 業種（同：+1）、「業歴別」では 5～10 年、61 年～70 年、81 年～100 年の 4 階層（同：+1）「従業員別」では 21 人～50 人、101 人～300 人以上 3 階層（同：+1）と若干増えましたが、「資本金別」では 5 前万円超～1 億円以下、1 億円超の 2 階層（同：▲1）と、規模の大きい階層に絞られました。

一方、今後の先行き見通しでは「増加」が 19.2%、「不変」が 43.0%、「減少」が 34.7%、回答なしが 3.0%です。「不変」が増えており実態では横ばいといえますが「増加」の割合が下がる一方、「減少」が上がっており、今後の売上高の先行き懸念も見て取れます。

属性別では「増加」の回答が多数の階層は「業種別」のソフトウェア・情報処理業、「従業員別」の 101 人～300 人だけになりました。一方、「業種別」の運送業、印刷・出版業、「業歴別」では 51 年～90 年、101 年以上、回答なしの計 6 階層で「減少」の回答が多数となりました。

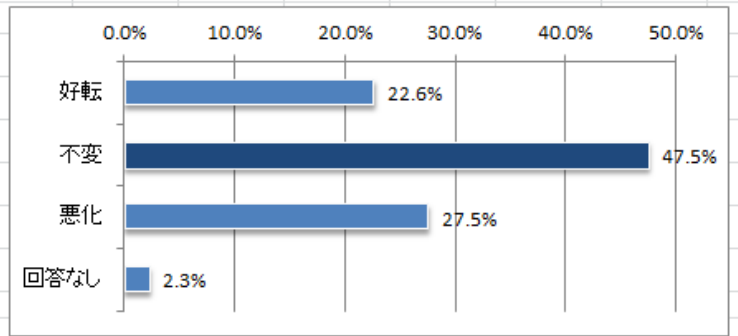
売上高 DI の比較では、今期については日本商工会議所、中小機構、埼玉県の DI がマイナスに対して、川口商工会議所では+4.9 とプラスに転換しています。しかし、今後の先行きでは川口商工会議所「減少」が「増加」を上回る▲15.5 となっており、日本商工会議所のスコアに接近しています。

2-1. 売上高DIの比較(「増加」-「減少」)	前々期DI	前期DI	今期DI	先行きDI
	2015年4-6月	2015年7-9月	2015年10-12月	2016年1-3月
川口商工会議所「リアルタイム景況調査」	▲1.2	0	4.9	▲15.5
日本商工会議所「LOBO(早期景気観測)」	▲7.6	▲10.3	▲9.8	▲17.2
日本銀行調査統計局「日銀短観」	-	-	-	-
中小機構「中小企業景況調査」	▲17.3	▲13.4	▲13.5	-
埼玉県四半期経営動向調査	▲20.9	▲20.8	▲11.0	▲23.8

2-2. 採算

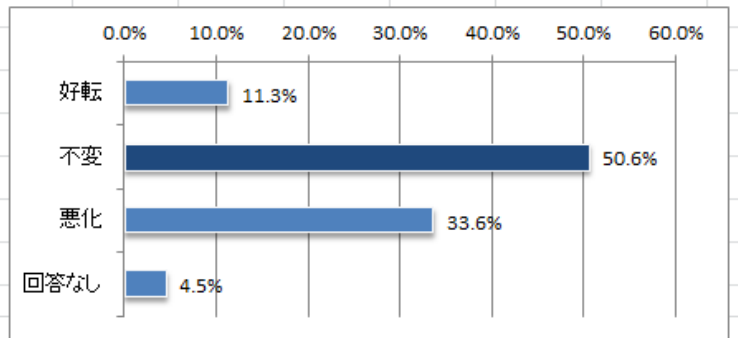
採算(1)今期(7-9月と比べ)

採算(今期10-12月)	回答数	構成比
好転	60	22.6%
不変	126	47.5%
悪化	73	27.5%
回答なし	6	2.3%
総計	265	100.0%



採算(2)今後の先行き見通し(1月~3月)

採算(今後の見通し)	回答数	構成比
好転	30	11.3%
不変	134	50.6%
悪化	89	33.6%
回答なし	12	4.5%
総計	265	100.0%



今期10-12月の川口市の企業の採算(経常利益)は、「好転」が22.6%(前期7-9月:21.6%)、「不変」が47.5%(同:44.0%)、「悪化」が27.5%(同:32.0%)、「回答なし」が2.3%(同:2.4%)です。「悪化」の回答が減少していますが、「好転」「不変」が前期とほぼ同じで、実態は横ばいといえます。

「好転」と回答が多数の階層は「業種別」で飲食業、印刷・出版業の2業種(同:+1)、「業歴別」で81年~100年、回答なしの3階層(同:±0)でした。「悪化」の回答が多数の階層は「業種別」でソフトウェア・情報処理業の1業種(▲3)、「資本金別」の1億円超(±0)、「従業員別」で300人以上(▲1)だけとなっており、大半の階層は「不変」の回答が多数となっています。

一方、今後の採算の先行き見通しは、「好転」が11.3%、「不変」が50.6%、「悪化」が33.6%、「回答なし」が4.5%でした。「好転」と回答する企業が今期の半分程度まで落ち込こむ一方、「悪化」も増加しており、不変から、悪化になりつつあります。

属性別で「好転」の回答が多数だったのは「業種別」のソフトウェア・情報処理業、「業歴別」の5年未満だけです。「悪化」が多数だったのは「業種別」では印刷・出版業、サービス業の2業種、「業歴別」では5年~10年、61年~70年以上の2階層、「資本金別」では500万円以下の1階層、「従業員別」では300人以上の1階層となっています。

採算DIの比較では、川口市の企業が前期▲10.4から今期▲4.9と改善したものの、先行きでは▲22.3と、大幅に悪化すると見込まれています。日本商工会議所、中小機構の調査と比べても川口商工会議所は厳しい見方をしています。一方、埼玉県内全体に比べてマイナス幅は小さくなっています。

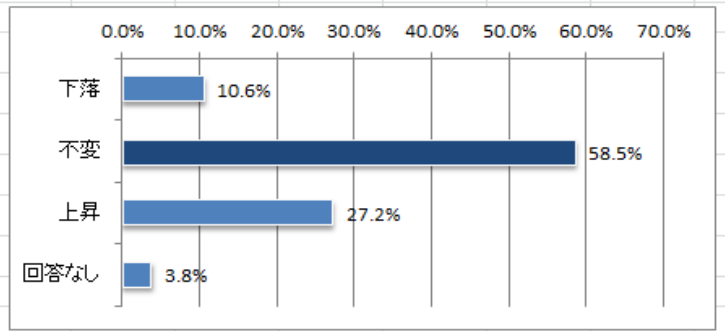
2-2. 採算DIの比較(「好転」-「悪化」)

	前々期DI	前期DI	今期DI	先行きDI
	2015年4-6月	2015年7-9月	2015年10-12月	2016年1-3月
川口商工会議所「リアルタイム景況調査」	▲11.2	▲10.4	▲4.9	▲22.3
日本商工会議所「LOBO(早期景気観測)」	▲15.3	▲16.9	▲16.0	▲17.8
日本銀行調査統計局「日銀短観」	-	-	-	-
中小機構「中小企業景況調査」	▲23.3	▲23.5	▲22.3	▲21.2
埼玉県四半期経営動向調査	▲27.5	▲27.9	▲23.5	▲27.1

2-3. 仕入単価

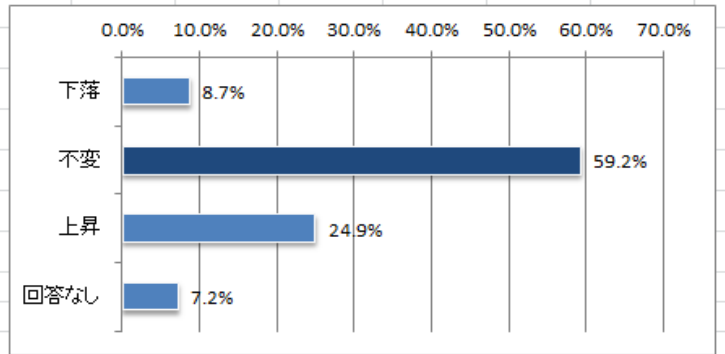
仕入単価(1)今期(7-9月と比べ)

仕入単価(今期10-12月)	回答数	構成比
下落	28	10.6%
不変	155	58.5%
上昇	72	27.2%
回答なし	10	3.8%
総計	265	100.0%



仕入単価(2)今後の先行き見通し(1月~3月)

仕入単価(今後の見通し)	回答数	構成比
下落	23	8.7%
不変	157	59.2%
上昇	66	24.9%
回答なし	19	7.2%
総計	265	100.0%



今期 10-12 月の川口市の企業の仕入単価は、「下落」が 10.6%（前期 7-9 月：7.6%）、「不変」が 58.5%（同：51.5%）「上昇」が 27.2%（同：36.8%）、「回答なし」が 3.8%（同：4.1%）です。「不変」が 4 期連続で増加し半数を超えたほか「上昇」が大きく下がり、前期に比べ改善傾向が見られました。

「業種別」では原油価格下落の恩恵を受ける運送業（+1）で「減少」の回答が多数であった一方、円安で輸入品や輸入食材が高騰した小売業、飲食業の 2 業種（同：▲3）は「上昇」が多数となり、特定の業種で明暗が分かれています。また、「業歴別」の 5~10 年（±0）、「資本金別」の回答なし 1 階層（同：▲2）、「従業員数別」の 300 人以上の 1 階層（同：▲1）で「上昇」と回答する企業が多数で、ほか大半の階層では「不変」の階層が多数でした。

一方、今後の仕入単価の先行き見通しでは、「下落」が 8.7%、「不変」が 59.2%、「上昇」が 24.9%、「回答なし」が 7.2%と、ほぼ今期同様の横ばい傾向が見られます。

「業種別」では小売業、飲食業では今期同様、先行きも「上昇」の回答が多数でしたが、運送業では「下落」から「不変」の回答が多数に変わりました。「業歴別」では業歴の短い 5 年未満~10 年の 2 階層で「上昇」の回答が多数でした。また、「資本金別」5 千万円~1 億円以下と回答なしの 2 階層、「従業員数別」の 300 人以上の 1 階層で「上昇」と回答する企業が多数となっています。「下落」の回答が多数の階層はありませんでした。

川口市の企業の仕入単価 D I は今期▲16.4 と前々期、前期に比べ 12.8 ポイントと大幅に改善され、先行きでも▲16.2 とほぼ横ばいとなっています。日本商工会議所、日銀短観、中小機構の D I も改善傾向ですが川口商工会議所はそれを上回っています。

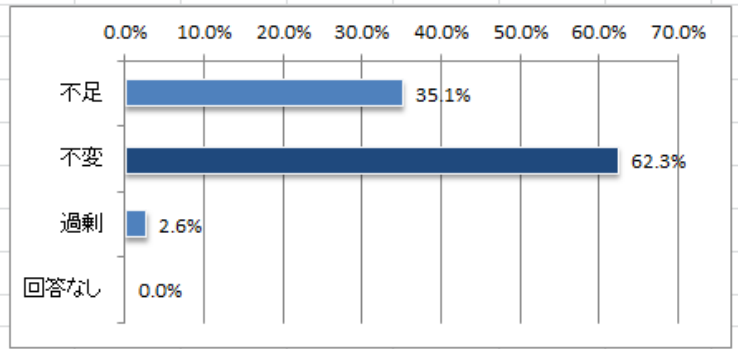
2-3. 仕入単価DIの比較(「下落(低下)」-「上昇」)

	前々期DI	前期DI	今期DI	先行きDI
	2015年4-6月	2015年7-9月	2015年10-12月	2016年1-3月
川口商工会議所「リアルタイム景況調査」	▲41.9	▲29.2	▲16.4	▲16.2
日本商工会議所「LOBO(早期景気観測)」	▲43.7	▲42.4	▲33.4	▲24.2
日本銀行調査統計局「日銀短観」製造業	▲35	▲22	▲14	▲19
日本銀行調査統計局「日銀短観」非製造業	▲25	▲18	▲16	▲21
中小機構「中小企業景況調査」	▲40.5	▲35.3	▲30.6	▲24.0
埼玉県四半期経営動向調査	-	-	-	-

2-4. 従業員

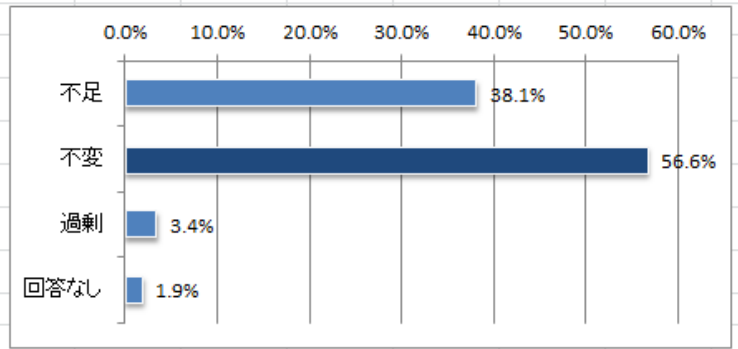
従業員(1)今期(7-9月と比べ)

従業員(今期10-12月)	回答数	構成比
不足	93	35.1%
不変	165	62.3%
過剰	7	2.6%
回答なし	0	0.0%
総計	265	100.0%



従業員(2)今後の先行き見通し(1月~3月)

従業員(今後の見通し)	回答数	構成比
不足	101	38.1%
不変	150	56.6%
過剰	9	3.4%
回答なし	5	1.9%
総計	265	100.0%



今期 10-12 月の川口市の企業における従業員数は、「不足」が 35.1% (前期 7-9 月 : 26.1%)、「不変」が 62.3% (同 : 70.4%)、「過剰」が 2.6% (同 : 2.4%)、「回答なし」が 0% (同 : 1.0%) です。「不変」が 6 割超と依然高い比率であるものの「不足」と回答する企業が 9.0% 増と人材の不足がさらに進んでいることがわかります。

属性別にみると「業種別」では不動産、ソフトウェア・情報処理業の 2 業種 (+1)、「業歴別」では 5 年未満と 81 年~90 年の 2 階層 (+2)、「資本金別」では回答なしの 1 階層 (+1)、「従業員別」では 101 人~300 人の 1 階層 (▲2) で「不足」の回答が多数でした。

一方、今後の先行きの見通しでは、「不足」が 38.1%、「不変」が 56.6%、「過剰」が 3.4%、回答なしが 1.9% です。「不変」の回答が 5.7% 減少する一方で「不足」のスコアが 3.0% 増えており、「不変」が基調であることには変わりはありませんが、先行きの採用について厳しい見方をしています。

属性別では「業種別」では運送業、ソフトウェア・情報処理業に加え、建設業、飲食業、サービス業も先行き「不足」の回答が多数となっています。「業歴別」では 5 年未満、11 年~20 年の 2 階層で、「資本金別」では個人事業主と回答なしの 2 階層で、「不変」が多数でした。「従業員別」では今期同様 101 人~300 人の 1 階層で「不足」の回答が多数でした。それ以外は全て「不変」の回答が多数の階層で、「過剰」の回答が多数の階層はありませんでした。

従業員 D I の比較では前期、今期および先行きを含めて 4 期連続で日本商工会議所、中小機構の全国 D I に比べ川口市の従業員不足感が高まっていることがわかります。前期に比べても D I の差がさらに広がっています。

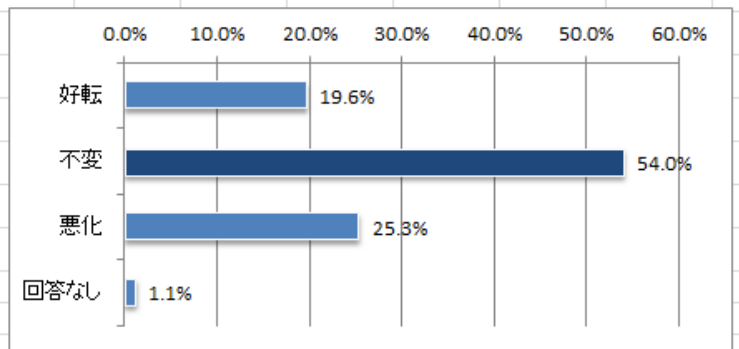
2-4. 従業員DIの比較(「不足」-「過剰(増加)」)

	前々期DI	前期DI	今期DI	先行きDI
	2015年4-6月	2015年7-9月	2015年10-12月	2016年1-3月
川口商工会議所「リアルタイム景況調査」	20.5	23.7	32.5	34.7
日本商工会議所「LOBO(早期景気観測)」	11.6	14.2	16.1	16.1
日本銀行調査統計局「日銀短観」	16	19	21	23
中小機構「中小企業景況調査」	11.2	12.9	14.6	-
埼玉県四半期経営動向調査	-	-	-	-

2-5. 業況

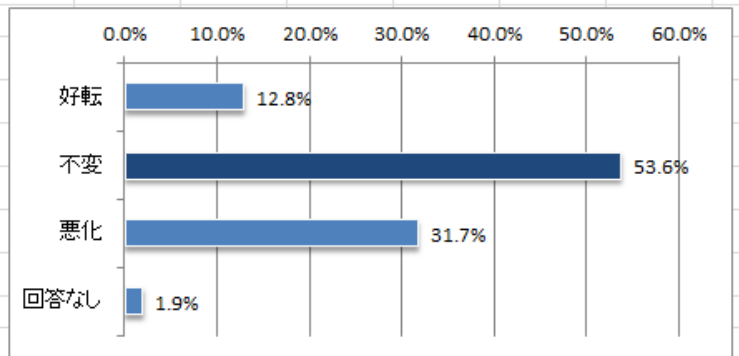
業況(1)今期(7-9月と比べ)

業況(今期10-12月)	回答数	構成比
好転	52	19.6%
不変	143	54.0%
悪化	67	25.3%
回答なし	3	1.1%
総計	265	100.0%



業況(2)今後の先行き見通し(1月~3月)

業況(今後の見通し)	回答数	構成比
好転	34	12.8%
不変	142	53.6%
悪化	84	31.7%
回答なし	5	1.9%
総計	265	100.0%



今期 10-12 月の川口市の企業における業況は、「好転」が 19.6% (前期 7-9 月 : 19.6%)、「不変」が 54.0% (同 : 48.8%)、「悪化」が 25.3% (同 : 29.2%)、「回答なし」が 1.1% (同 : 2.4%) です。「好転」は同スコアで「悪化」から「不変」への変化が主因となっており、実態は「悪化」のまま横ばいです。

属性別にみると「業種別」では飲食業、出版・印刷業を除く 10 業種 (同 : ±0)、「業歴別」では 11 年~80 年の 7 階層 (同 : ▲2) で、「資本金別」では 1 億円以上を除く 7 階層 (同 : +3)、「従業員数別」では 0~300 人の 5 階層 (同 : +1) が、「不変」と回答する企業が多数となっています。「業歴別」の 81 年~100 年の 2 階層で「好転」の回答が多数である一方、「従業員別」の 300 人~の 1 階層で「悪化」の回答が多数となっています。

今後の業況先行き見通しでは、「好転」が 12.8%、「不変」が 53.6%、「悪化」が 31.7%、「回答なし」が 1.9% で、「好転」が減少する一方、「悪化」が増加しており、先行きの業況に懸念が広がりつつあります。

属性別の先行きは今期と大きな変化はなく、「業種別」が印刷・出版業、士業を除く 10 業種、「業歴別」は 5 面未満、11~70 年、91 年~101 年以上の計 9 階層、「資本金別」は全 8 階層、従業員別も全 6 階層において「不変」の回答が多数になっています。「好転」の回答が多数の階層はなく、「悪化」の回答が多数の階層は「業歴別」で 71 年~80 年の 1 階層にとどまっています。

業況DI では川口商工会議所は 3 期連続で悪化していましたが、今期は▲5.7%と改善しました。日本商工会議所、中小機構のDI と比べても改善が見られました。しかし、先行きでは▲18.9 と前期、前々期を上回るペースおよび水準で悪化しており、業況に対する懸念が見られています。

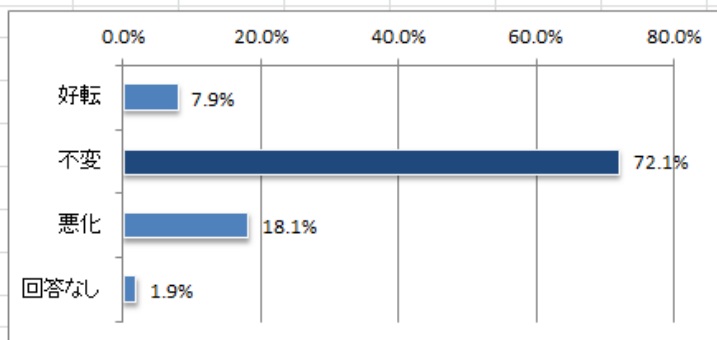
2-5. 業況DIの比較(「好転」-「悪化」)

	前々期DI	前期DI	今期DI	先行きDI
	2015年4-6月	2015年7-9月	2015年10-12月	2016年1-3月
川口商工会議所「リアルタイム景況調査」	▲8.1	▲9.6	▲5.7	▲18.9
日本商工会議所「LOBO(早期景気観測)」	▲14.7	▲17.4	▲17.5	▲18.2
日本銀行調査統計局「日銀短観」	2	3	3	-2
中小機構「中小企業景況調査」	▲18.7	▲15.5	▲15.1	▲9.9
埼玉県四半期経営動向調査	-	-	-	-

2-6. 資金繰り

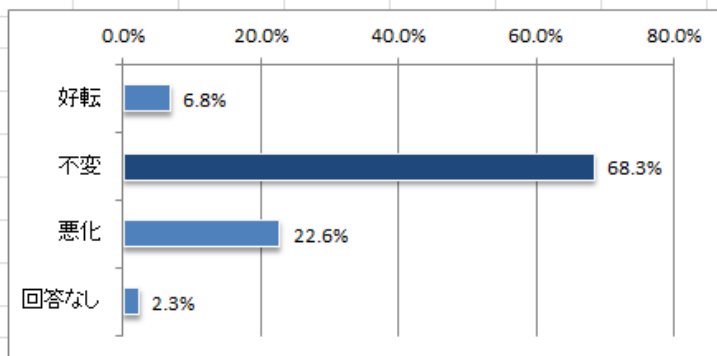
資金繰り(1)今期(7-9月と比べ)

資金繰り(今期10-12月)	回答数	構成比
好転	21	7.9%
不変	191	72.1%
悪化	48	18.1%
回答なし	5	1.9%
総計	265	100.0%



資金繰り(2)今後の先行き見通し(1月~3月)

資金繰り(今後の見通し)	回答数	構成比
好転	18	6.8%
不変	181	68.3%
悪化	60	22.6%
回答なし	6	2.3%
総計	265	100.0%



今期 10-12 月の川口市の企業における資金繰りは、「好転」が 7.9%（前期 7-9 月：8.6%）、「不変」が 72.1%（同：68.7%）、「悪化」が 18.1%（同：19.6%）、「回答なし」が 1.9%（同：3.1%）です。前期同様、全体の約 7 割の階層で「不変」の回答が多数となっています。

「業種別」では全 12 業種（同：+1）、「業歴別」では回答なしを除く 12 階層（同：±0）、「資本金別」では全 8 階層（同：+1）、「従業員数別」では全 6 階層（同：±0）で「不変」と回答する企業が多数となっています。

一方、今後の資金繰りの先行き見通しでは、「好転」が 6.8%、「不変」が 68.3%、「悪化」が 22.6%、回答なしが 2.3%となっています。「好転」と「不変」が合わせて 4.9%下がる一方、「悪化」は 4.5%増加しており、先行きの資金繰りに対する懸念が見られます。

属性別では「業歴別」の 5 年～10 年で「悪化」の回答が最も多く、「業歴別」の 81 年～90 年、と回答なしの 2 階層、「従業員別」の 101 人～300 人の 3 階層で回答にばらつきが見られます。それ以外の階層は前期同様「不変」の回答が多数となっています。

川口市の企業の資金繰り DI は▲10.2（同：▲11.0）と前期とほぼ同じ水準で日本商工会議所、中小機構の調査結果と大差はありません。一方、先行きは▲15.8%と悪化する見込みです。また先行きでは日本商工会議所の調査と比べてもややマイナスとなっており、埼玉県全体よりはマイナス幅は小さいものの川口市の企業の資金繰りに対する懸念は深まっていると言えそうです。

2-6. 資金繰りDIの比較(「好転」-「悪化」)

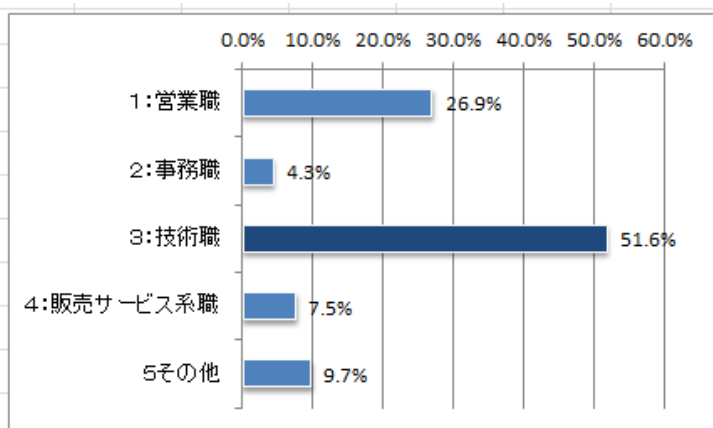
	前々期DI	前期DI	今期DI	先行きDI
	2015年4-6月	2015年7-9月	2015年10-12月	2016年1-3月
川口商工会議所「リアルタイム景況調査」	▲9.3	▲11.0	▲10.2	▲15.8
日本商工会議所「LOBO(早期景気観測)」	▲9.9	▲12.1	▲10.7	▲13.7
日本銀行調査統計局「日銀短観」	5	6	6	-
中小機構「中小企業景況調査」	▲14.6	▲13.0	▲12.1	-
埼玉県四半期経営動向調査	▲16.9	▲19.7	▲15.9	▲22.5

問3. 問2-4「従業員」において今期「不足」と回答された方にお聞きします。

(1) どの職種で人材が不足していますか。

(1) どの職種で人材が不足していますか。

不足している職種	回答数	構成比
1:営業職	25	26.9%
2:事務職	4	4.3%
3:技術職	48	51.6%
4:販売サービス系職	7	7.5%
5その他	9	9.7%
総計	93	100.0%



「従業員」が不足していると回答した企業に対して、不足している「職種」を聞いたところ、1位.「技術職」51.6%、2位.「営業職」26.9%、3位.「販売サービス系職」7.5%、4位.「事務職」4.3%、「その他」は9.7%でした。

「技術職」が不足しているとの回答が多かったのは「業種別」で製造業、建設業、サービス業、士業の4業種、「業歴別」で11年～50年、61年～70年、91年～100年の6階層、「資本金別」では500万円以下～3千万円以下、5千万円超～1億円以下の4階層、「従業員別」で0～50人の3階層となっています。

「営業職」が不足しているとの回答が多かったのは「業種別」では卸売業、小売業、不動産業、印刷・出版業、ソフトウェア・情報処理業、その他の6業種、「業歴別」では51年～60年の1階層、資本金別では3千万円超～5千万円以下に1階層、「従業員別」では51人～101人の1階層となっています。

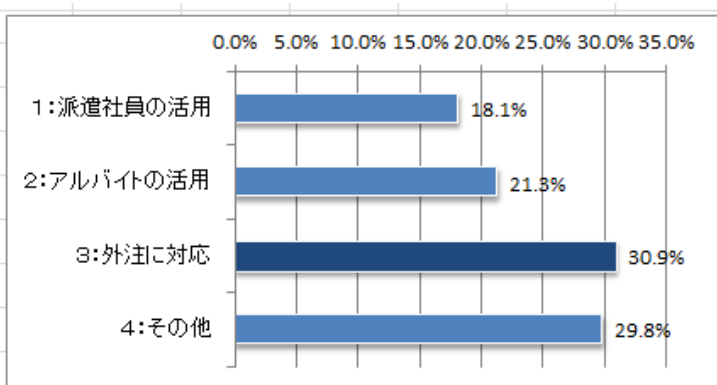
「販売サービス系職」が不足しているとの回答が多かったのは「業種別」で飲食業の1業種、「業歴別」で5年未満の1階層、「資本金別」で個人事業主の1階層となっています。

「その他」の自由回答では「配送・運転手など」車の運転が必要な職種を挙げている企業が8社ありました。また、人材の高齢化による穴埋めを訴えている企業が4社ありました。

(2) 御社の人材不足を補完する方法を教えてください。

(2) 御社の人材不足を補完する方法を教えてください。

人材不足補完方法	回答数	構成比
1:派遣社員の活用	17	18.1%
2:アルバイトの活用	20	21.3%
3:外注に対応	29	30.9%
4:その他	28	29.8%
総計	94	100.0%



次に人材不足を補完する方法を聞いたところ、1位.「外注に対応」30.9%、2位.「アルバイトの活用」21.8%、3位.「派遣社員の活用」18.1%、「その他」29.8%でした。

「外注に対応」の回答が最も多かったのは、「業種別」で製造業、建設業の2業種、「業歴別」で21年～50年の3階層、「資本金別」では500万円以下、1千万円超～3千万円以下の2階層、「従業員別」では0～50人の3階層となっています。製造業・建設業の技術者に不足は外注で対応していることがうかがえます。

「アルバイト」の回答が最も多かったのは「業種別」で小売業、飲食業、サービス業の3業種、「業歴別」で5年未満、101年以上の2階層、「資本金別」で個人事業主、3千万円超～5千万円以下の2階層になっています。個人を相手にした接客が必要とされる業種で利用されていることがうかがえます。

「派遣社員」の回答が最も多かったのは「業種別」で卸売業、その他、「業歴別」で51年～60年の1階層となっています。

「その他」の自由回答では、製造業、建設業では「ハローワーク（職安の回答含む）の活用」が11社と多く、「外国人（外国人研修生受け入れ）」「中途採用」もそれぞれ3社ありました。サービス業では「子持ち女性技術者の活用」などに取り組む企業もある一方、やむなく「不足のまま」、「仕事を断っている」という声も寄せられました。小売業では「定年後の社員を嘱託で採用」、「採用活動の拡大、手法の変更（チラシからWeb募集へ切り替え）」などに取り組んでいる企業がありました。運輸業では「正社員を採用」する企業もあれば「外注にお願いしている」、「事務系社員にも現場に出てもらっている」と人繰りに困っている企業もありました。

問4．現在（1月25日現在）、円は118円台後半で安値で推移しています。また、原油についても安値で推移しておりますが、御社への影響をお聞かせください。

経営への影響を聞いたところ、回答のあった129社のうち40社以上の企業で燃料費の削減につながり経営にプラスと回答しています。「原油安は非常に助かっています。月に燃料費が昨年同月に比べ30万～40万円経費が下がっています。（不動産業）」、「原油安は都市ガス代の値下がりにつながり、コストメリットが生じています。（製造業）」、「輸出品がある訳ではないので、為替の影響はない。車両が10台あるので原油安はありがたい。（建設業）」、「仕入原価が下がり、大変助かっております。（製造業）」などの声が寄せられています。

一方、円安が輸入価格高騰の要因となり原油安のメリットを相殺しているとの意見もありました。「外資系企業であるため極端な円安は採算悪化の要因になります。一方石油製品を原材とする商品を製造しているため、原油安は採算の改善に働きます。（自動車整備、販売業）」、「運送業なので原油安はありがたい。円安はそのメリットを相殺してしまうのでこまる。（製造業）」、「原油が安値となっているが、原料費の高騰は解消されていない。（サービス業）」などの声が寄せられています。

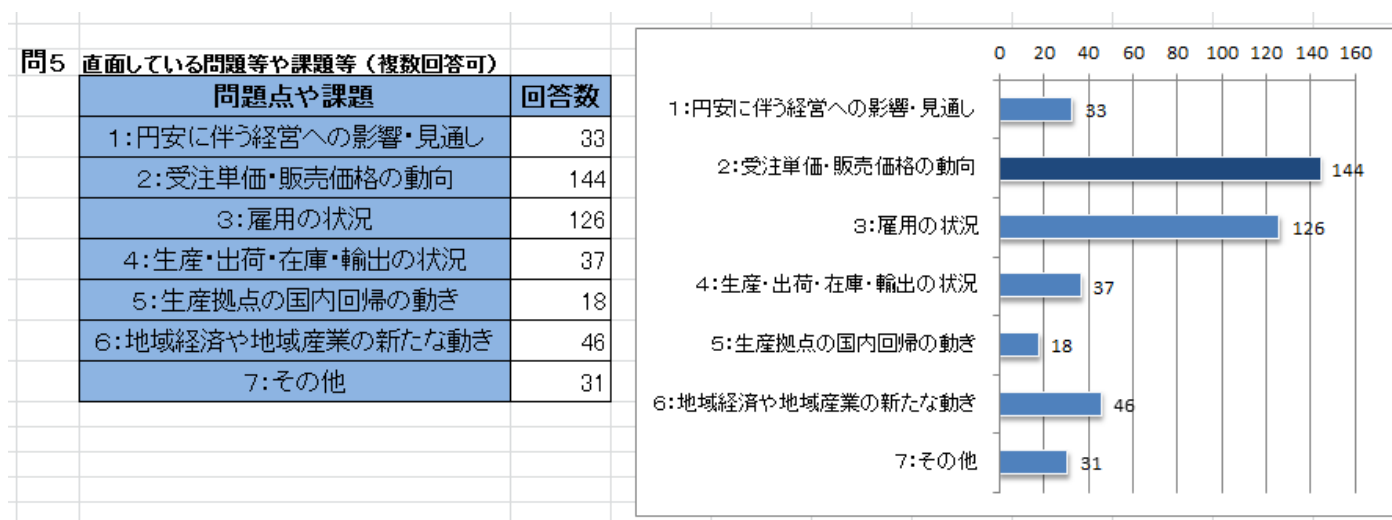
逆に、原材料を輸入している企業では円安のデメリットを挙げる企業もありました。「輸出の際、販売価格に上乗せできないため利益が薄まってしまう。（製造業）」、「部品の値上げが最近多くなってきている（10%～20%）（製造業）」、「経費は若干軽減されるが、輸入価格は高止まり、海外価格の上昇と合わせて経費を押し上げている。（小売業）」などの声が寄せられています。

また、「石油関係の設備等受注しており原油安では受注減につながり（受注先の減益のため）石油価格の上昇を願っている。（製造業）」、「プラスチック製品取引が多く原油安に関して気を使っています。これ以上長く続くと仕入価格が安くなり、売値も安くならなければならなくなると思われれます。（製造業）」など原油安が経営に悪影響を与える例も見られました。

他にも、「現在はあまり影響有りません。（製造業）」、「今のところありませんが、今後については不安。（製造業）」、「国内型産業なので短期的には影響が無いと思う。（建設業）」と現在は影響を感じていないとの声も30社以上の企業から寄せられています。

日本商工会議所LOBO（早期景気観測）2016年1月付帯調査（調査期間1月15～21日の為替水準：1ドル115円～118円で推移）で「経営上望ましい為替水準」（全産業）は「115円～120円未満」が31.9%と最も多く、次いで「110円～115円未満」16.5%、「120円～125円未満」15.9%となっています。「100円未満～115円未満」の合計は48.0%となっており、ほぼ半数の回答企業で115円までは経営上問題ないとしています。

問5. 直面している経営上の問題点、地域の課題



直面している経営上の問題点、地域の課題について聞いたところ 1 位、「受注単価・販売価格の動向」144 社（前期：152 社）、2 位、「雇用の状況」：126 社（同：136 社）、3 位、「地域経済や地域産業の新たな動き」：46 社（同：53 社）、4 位、「生産・出荷・在庫・輸出の状況」：37 社（同：37 社）、5 位、「円安に伴う経営への影響・見通し」：33 社（同：55 社）、6 位、「生産拠点の国内回帰の動き」：18 社（同：28 社）、「その他」：31 社（同：23 社）、でした。前期 4 位だった「地域経済や地域産業の新たな動き」が 3 位に、5 位だった「生産・出荷・在庫・輸出の状況」が 4 位に順位を上げた一方、前期 3 位の「円安に伴う経営への影響・見通し」が 5 位に順位を下げました。円相場の影響よりも足下の経営環境に注意する様子が見えられます。

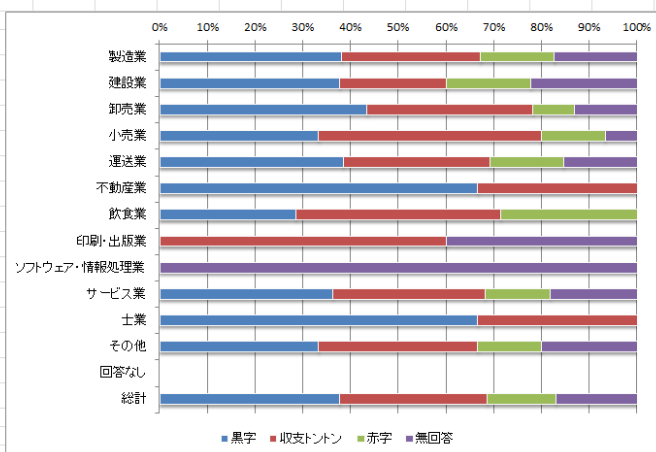
属性別については、「業種別」では製造業、建設業、卸売業、印刷・出版業、その他では「受注単価・販売価格の動向」が、小売業、運送業、不動産業、飲食業、サービス業、土業では「雇用の状況」の回答が多くみられます。「業歴別」では 31 年～80 年の 5 階層で「受注単価・販売価格の動向」、5 年～30 年の 3 階層では「雇用の状況」の回答が多くみられます。「資本金別」では 500 万円以下～5 千万円以下の 4 階層で「受注単価・販売価格の動向」が、個人事業主および 5 千万円以上～1 億円以上、回答なしの 4 階層で「雇用の状況」の回答が多くみられます。「従業員別」では 0 人～50 人の 3 階層で「受注単価・販売価格の動向」が、51 人～300 人以上の 3 階層で「雇用の状況」の回答が多くみられます。

また、「その他」で回答したコメントの中には「作業工賃が 10 年前と同じ又は値下げしているので厳しいです。（洋服のプレス・検品物流等）」、「地域の景気が悪く中小企業は大変難しい状況が続いています。（自動車整備、販売業）」、「建設コストの上昇、人口の減少、高齢化社会（不動産業）」、「得意先の生産拠点が地方（九州）に移行そのために売上の減少（製造業）」、「人件費の増加とそれに伴う、社会保険や労働保険の負担が苦しい。（製造業）」、「高齢化の為、若い労働者の教育が課題です。（製造業）」、「TPP の業界への影響が不透明（製造業）」、「機械設備・人の老朽化。顧客の新規開拓等（製造業）」、「資金の回収サイクルが長くなっていること 出来高清算をなかなかしてくれない。（サービス業）」、「若い人が雇用できず、今後 10 年後に不安を感じています。（運輸業）」など、回答企業それぞれに切実な意見が寄せられました。

①属性別「収益状況」

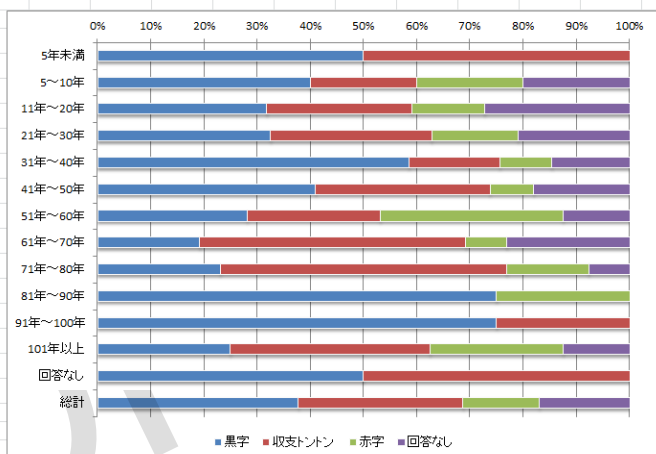
業種別収益状況

業種	黒字	収支トントン	赤字	無回答	総計
製造業	42	32	17	19	110
建設業	17	10	8	10	45
卸売業	10	8	2	3	23
小売業	5	7	2	1	15
運送業	5	4	2	2	13
不動産業	4	2			6
飲食業	2	3	2		7
印刷・出版業		3		2	5
ソフトウェア・情報処理業				1	1
サービス業	8	7	3	4	22
土業	2	1			3
その他	5	5	2	3	15
回答なし					0
総計	100	82	38	45	265



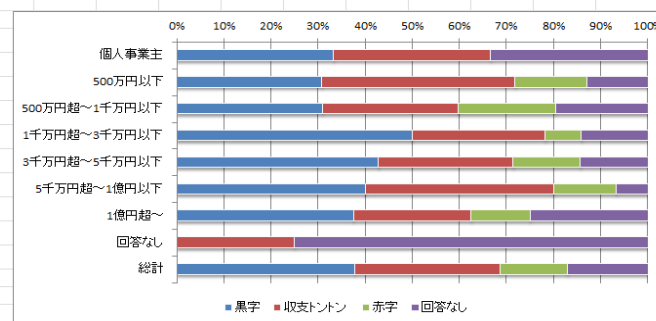
業歴別収益状況

業歴	黒字	収支トントン	赤字	回答なし	総計
5年未満	2	2			4
5～10年	2	1	1	1	5
11年～20年	7	6	3	6	22
21年～30年	14	13	7	9	43
31年～40年	24	7	4	6	41
41年～50年	25	20	5	11	61
51年～60年	9	8	11	4	32
61年～70年	5	13	2	6	26
71年～80年	3	7	2	1	13
81年～90年	3		1		4
91年～100年	3	1			4
101年以上	2	3	2	1	8
回答なし	1	1			2
総計	100	82	38	45	265



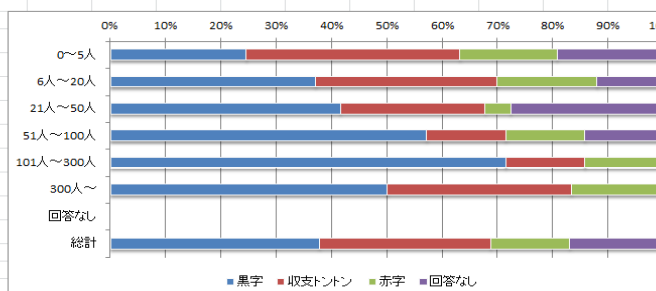
資本金別収益状況

資本金	黒字	収支トントン	赤字	回答なし	総計
個人事業主	1	1		1	3
500万円以下	12	16	6	5	39
500万円超～1千万円以下	30	28	20	19	97
1千万円超～3千万円以下	39	22	6	11	78
3千万円超～5千万円以下	9	6	3	3	21
5千万円超～1億円以下	6	6	2	1	15
1億円超～	3	2	1	2	8
回答なし		1		3	4
総計	100	82	38	45	265



従業員別収益状況

従業員数	黒字	収支トントン	赤字	回答なし	総計
0～5人	14	22	10	11	57
6人～20人	43	38	21	14	116
21人～50人	27	17	3	18	65
51人～100人	8	2	2	2	14
101人～300人	5	1	1		7
300人～	3	2	1		6
回答なし					0
総計	100	82	38	45	265

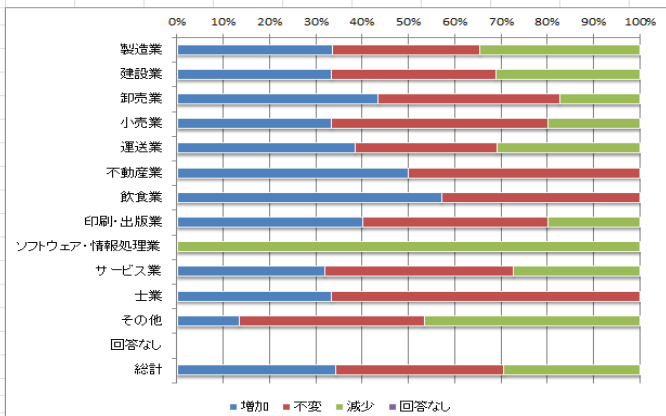


②属性別景況感（売上高）

業種別売上高

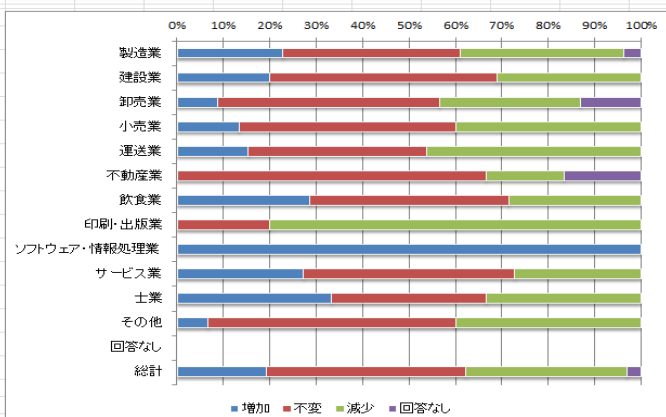
業種別売上高(今期)10月～12月(7月～9月と比べ)

業種	増加	不変	減少	回答なし	総計
製造業	37	35	38		110
建設業	15	16	14		45
卸売業	10	9	4		23
小売業	5	7	3		15
運送業	5	4	4		13
不動産業	3	3			6
飲食業	4	3			7
印刷・出版業	2	2	1		5
ソフトウェア・情報処理業			1		1
サービス業	7	9	6		22
土業	1	2			3
その他	2	6	7		15
回答なし					0
総計	91	96	78	0	265



業種別売上高(今後)先行き見通し(1月～3月)

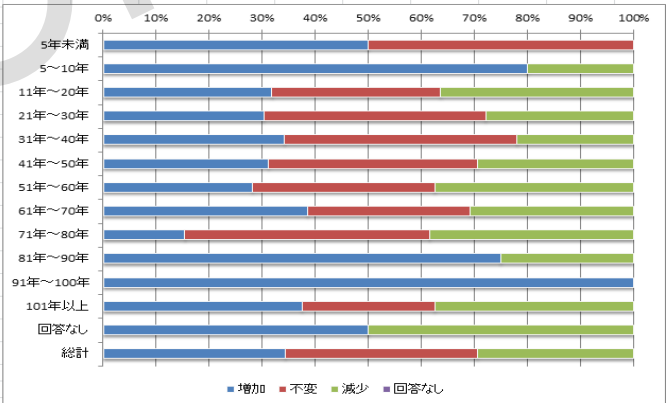
業種	増加	不変	減少	回答なし	総計
製造業	25	42	39	4	110
建設業	9	22	14		45
卸売業	2	11	7	3	23
小売業	2	7	6		15
運送業	2	5	6		13
不動産業		4	1	1	6
飲食業	2	3	2		7
印刷・出版業		1	4		5
ソフトウェア・情報処理業	1				1
サービス業	6	10	6		22
土業	1	1	1		3
その他	1	8	6		15
回答なし					0
総計	51	114	92	8	265



業歴別売上高

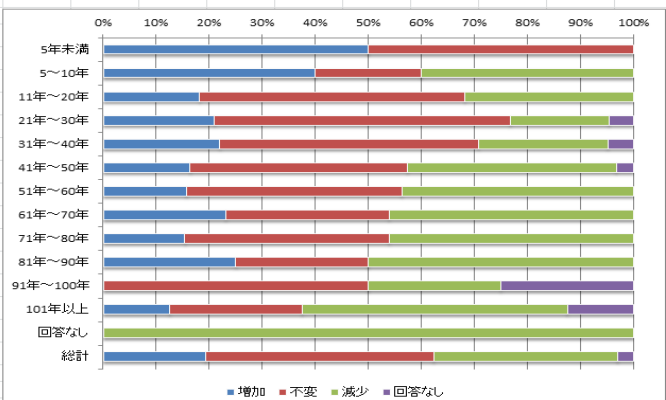
業歴別売上高(今期)10月～12月(7月～9月と比べ)

業歴	増加	不変	減少	回答なし	総計
5年未満	2	2			4
5～10年	4		1		5
11年～20年	7	7	8		22
21年～30年	13	18	12		43
31年～40年	14	18	9		41
41年～50年	19	24	18		61
51年～60年	9	11	12		32
61年～70年	10	8	8		26
71年～80年	2	6	5		13
81年～90年	3		1		4
91年～100年	4				4
101年以上	3	2	3		8
回答なし	1		1		2
総計	91	96	78	0	265



業歴別売上高(今後)先行き見通し(1月～3月)

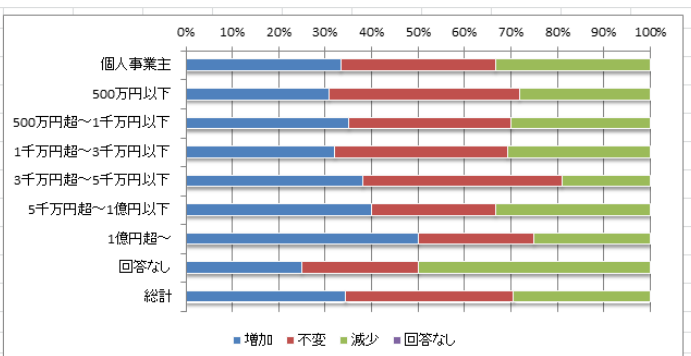
業歴	増加	不変	減少	回答なし	総計
5年未満	2	2			4
5～10年	2	1	2		5
11年～20年	4	11	7		22
21年～30年	9	24	8	2	43
31年～40年	9	20	10	2	41
41年～50年	10	25	24	2	61
51年～60年	5	13	14		32
61年～70年	6	8	12		26
71年～80年	2	5	6		13
81年～90年	1	1	2		4
91年～100年		2	1	1	4
101年以上	1	2	4	1	8
回答なし			2		2
総計	51	114	92	8	265



資本金別売上高

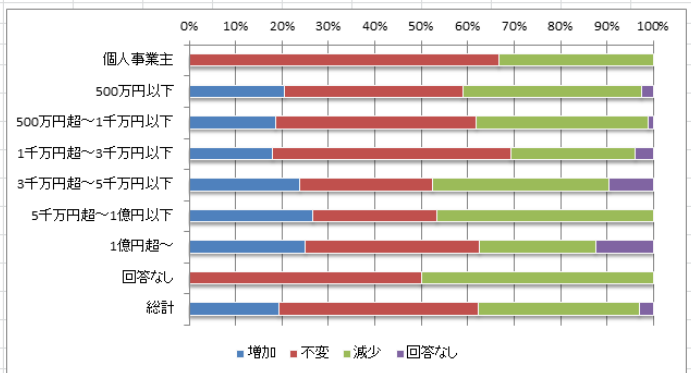
資本金別売上高(今期)10月～12月(7月～9月と比べ)

資本金	増加	不変	減少	回答なし	総計
個人事業主	1	1	1		3
500万円以下	12	16	11		39
500万円超～1千万円以下	34	34	29		97
1千万円超～3千万円以下	25	29	24		78
3千万円超～5千万円以下	8	9	4		21
5千万円超～1億円以下	6	4	5		15
1億円超～	4	2	2		8
回答なし	1	1	2		4
総計	91	96	78	0	265



資本金別売上高(今後)先行き見通し(1月～3月)

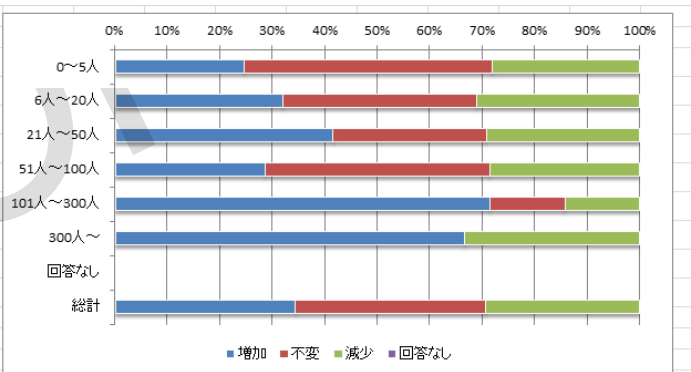
資本金	増加	不変	減少	回答なし	総計
個人事業主		2	1		3
500万円以下	8	15	15	1	39
500万円超～1千万円以下	18	42	36	1	97
1千万円超～3千万円以下	14	40	21	3	78
3千万円超～5千万円以下	5	6	8	2	21
5千万円超～1億円以下	4	4	7		15
1億円超～	2	3	2	1	8
回答なし		2	2		4
総計	51	114	92	8	265



従業員別売上高

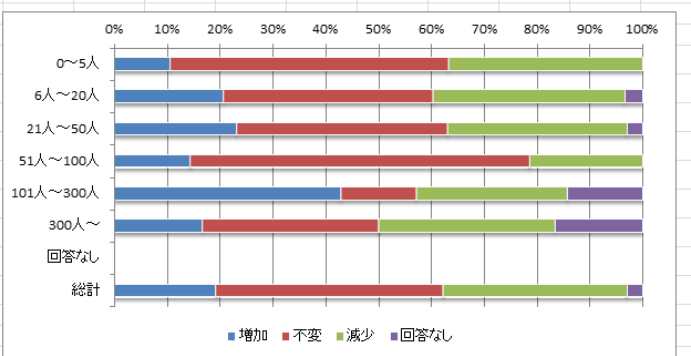
従業員数別売上高(今期)10月～12月(7月～9月と比べ)

従業員数	増加	不変	減少	回答なし	総計
0～5人	14	27	16		57
6人～20人	37	43	36		116
21人～50人	27	19	19		65
51人～100人	4	6	4		14
101人～300人	5	1	1		7
300人～	4		2		6
回答なし					0
総計	91	96	78	0	265



従業員数別売上高(今後)先行き見通し(1月～3月)

従業員数	増加	不変	減少	回答なし	総計
0～5人	6	30	21		57
6人～20人	24	46	42	4	116
21人～50人	15	26	22	2	65
51人～100人	2	9	3		14
101人～300人	3	1	2	1	7
300人～	1	2	2	1	6
回答なし					0
総計	51	114	92	8	265

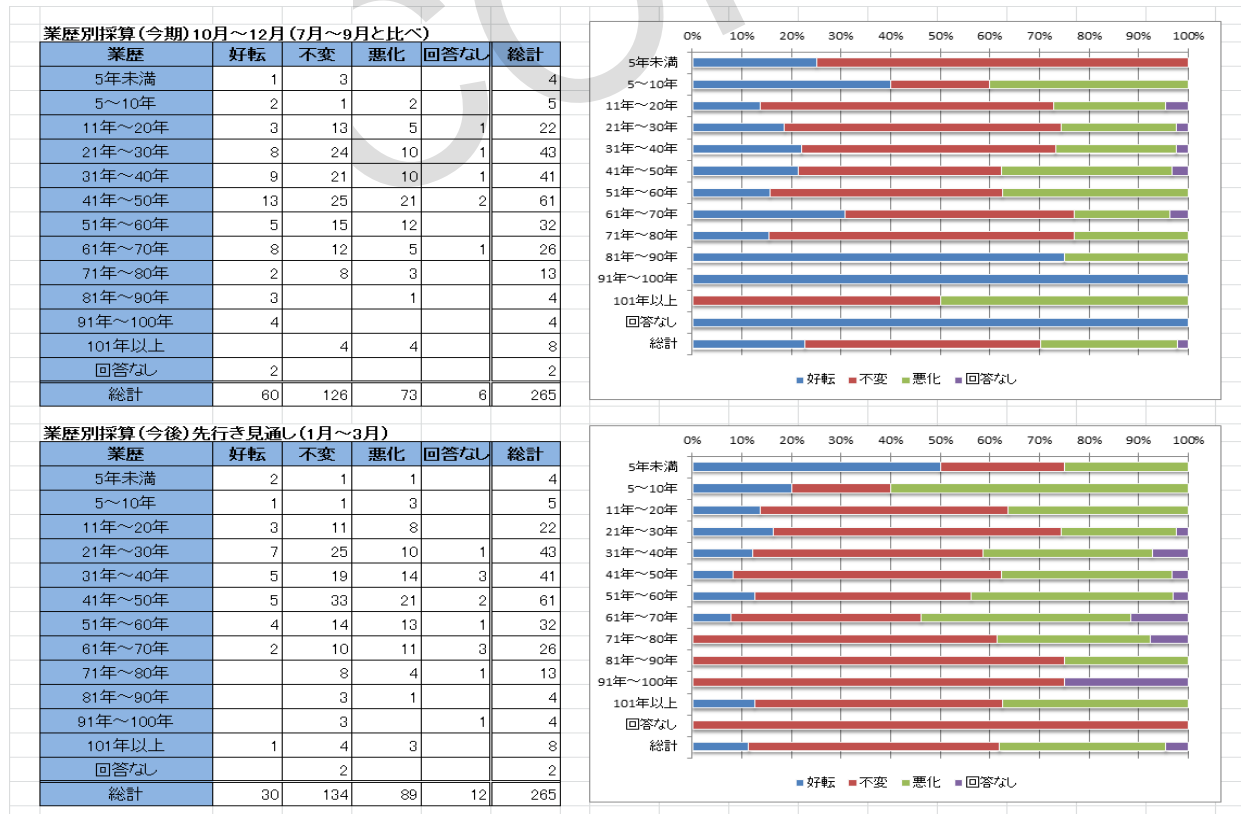


③属性別景況感（採算）

業種別採算



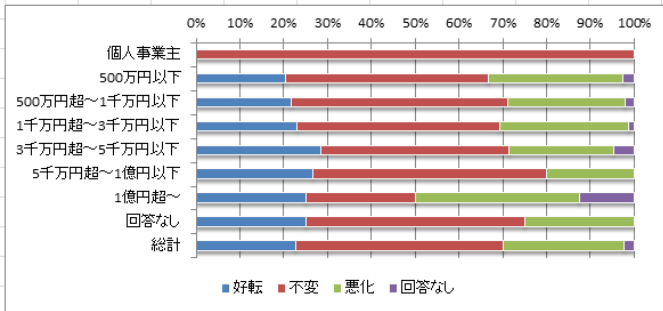
業歴別採算



資本金別採算

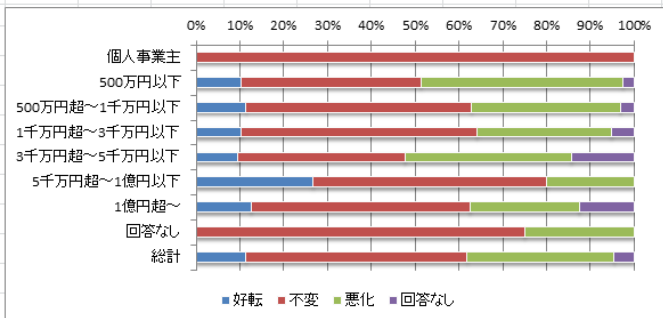
資本金別採算(今期)10月～12月(7月～9月と比べ)

資本金	好転	不変	悪化	回答なし	総計
個人事業主		3			3
500万円以下	8	18	12	1	39
500万円超～1千万円以下	21	48	26	2	97
1千万円超～3千万円以下	18	36	23	1	78
3千万円超～5千万円以下	6	9	5	1	21
5千万円超～1億円以下	4	8	3		15
1億円超～	2	2	3	1	8
回答なし	1	2	1		4
総計	60	126	73	6	265



資本金別採算(今後)先行き見通し(1月～3月)

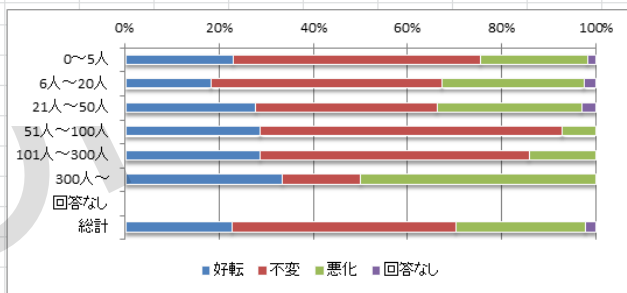
資本金	好転	不変	悪化	回答なし	総計
個人事業主		3			3
500万円以下	4	16	18	1	39
500万円超～1千万円以下	11	50	33	3	97
1千万円超～3千万円以下	8	42	24	4	78
3千万円超～5千万円以下	2	8	8	3	21
5千万円超～1億円以下	4	8	3		15
1億円超～	1	4	2	1	8
回答なし		3	1		4
総計	30	134	89	12	265



従業員数別採算

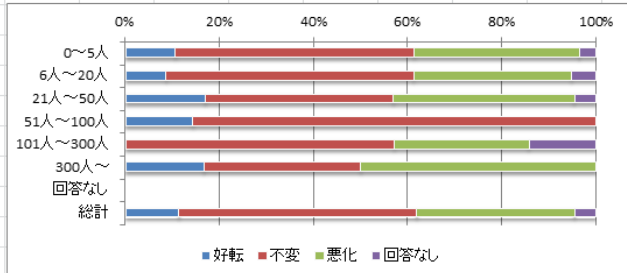
従業員数別採算(今期)10月～12月(7月～9月と比べ)

従業員数	好転	不変	悪化	回答なし	総計
0～5人	13	30	13	1	57
6人～20人	21	57	35	3	116
21人～50人	18	25	20	2	65
51人～100人	4	9	1		14
101人～300人	2	4	1		7
300人～	2	1	3		6
回答なし					0
総計	60	126	73	6	265



従業員数別採算(今後)先行き見通し(1月～3月)

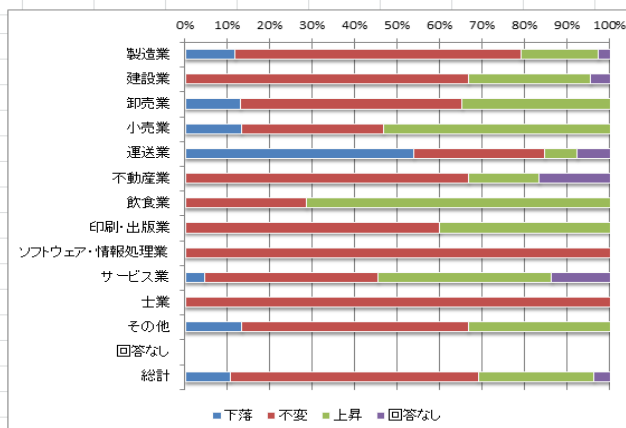
従業員数	好転	不変	悪化	回答なし	総計
0～5人	6	29	20	2	57
6人～20人	10	61	39	6	116
21人～50人	11	26	25	3	65
51人～100人	2	12			14
101人～300人		4	2	1	7
300人～	1	2	3		6
回答なし					0
総計	30	134	89	12	265



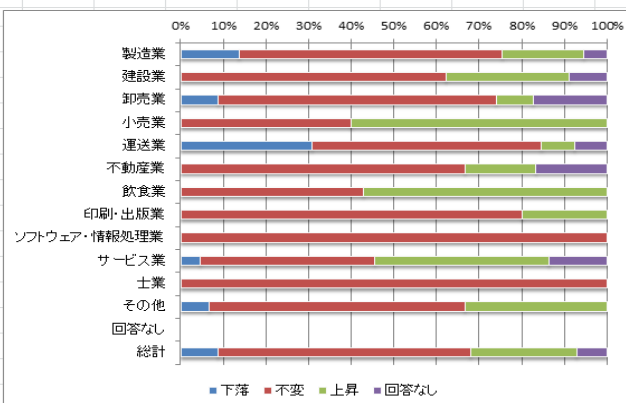
④属性別景況感（仕入単価）

業種別仕入単価

業種	下落	不変	上昇	回答なし	総計
製造業	13	74	20	3	110
建設業		30	13	2	45
卸売業	3	12	8		23
小売業	2	5	8		15
運送業	7	4	1	1	13
不動産業		4	1	1	6
飲食業		2	5		7
印刷・出版業		3	2		5
ソフトウェア・情報処理業		1			1
サービス業	1	9	9	3	22
士業		3			3
その他	2	8	5		15
回答なし					0
総計	28	155	72	10	265

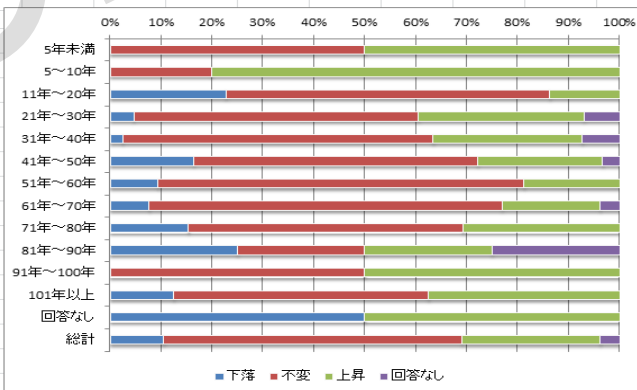


業種	下落	不変	上昇	回答なし	総計
製造業	15	68	21	6	110
建設業		28	13	4	45
卸売業	2	15	2	4	23
小売業		6	9		15
運送業	4	7	1	1	13
不動産業		4	1	1	6
飲食業		3	4		7
印刷・出版業		4	1		5
ソフトウェア・情報処理業		1			1
サービス業	1	9	9	3	22
士業		3			3
その他	1	9	5		15
回答なし					0
総計	23	157	66	19	265

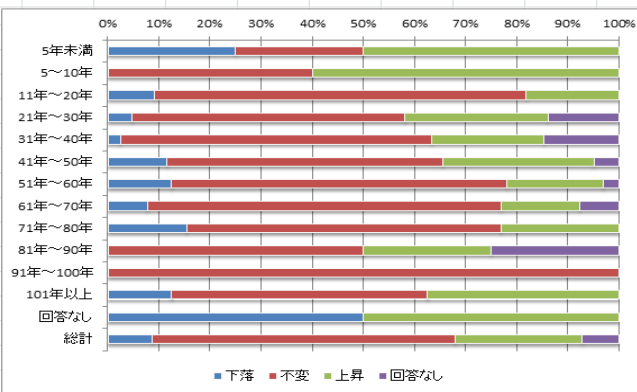


業歴別仕入単価

業歴	下落	不変	上昇	回答なし	総計
5年未満		2	2		4
5～10年		1	4		5
11年～20年	5	14	3		22
21年～30年	2	24	14	3	43
31年～40年	1	25	12	3	41
41年～50年	10	34	15	2	61
51年～60年	3	23	6		32
61年～70年	2	18	5	1	26
71年～80年	2	7	4		13
81年～90年	1	1	1	1	4
91年～100年		2	2		4
101年以上	1	4	3		8
回答なし	1		1		2
総計	28	155	72	10	265



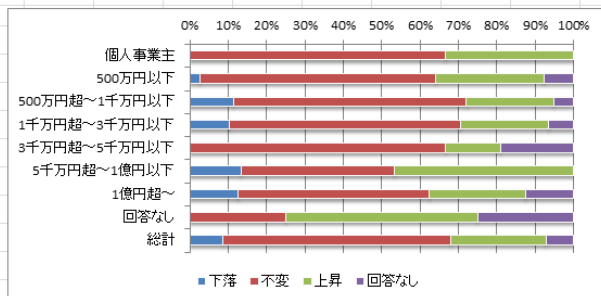
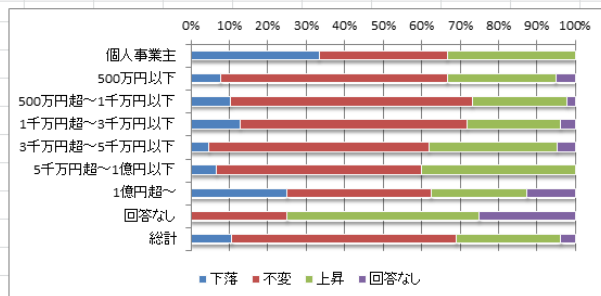
業歴	下落	不変	上昇	回答なし	総計
5年未満	1	1	2		4
5～10年		2	3		5
11年～20年	2	16	4		22
21年～30年	2	23	12	6	43
31年～40年	1	25	9	6	41
41年～50年	7	33	18	3	61
51年～60年	4	21	6	1	32
61年～70年	2	18	4	2	26
71年～80年	2	8	3		13
81年～90年		2	1	1	4
91年～100年		4			4
101年以上	1	4	3		8
回答なし	1		1		2
総計	23	157	66	19	265



資本金別仕入単価

資本金別仕入単価(今期)10月~12月(7月~9月と比べ)					
資本金	下落	不変	上昇	回答なし	総計
個人事業主	1	1	1		3
500万円以下	3	23	11	2	39
500万円超~1千万円以下	10	61	24	2	97
1千万円超~3千万円以下	10	46	19	3	78
3千万円超~5千万円以下	1	12	7	1	21
5千万円超~1億円以下	1	8	6		15
1億円超~	2	3	2	1	8
回答なし		1	2	1	4
総計	28	155	72	10	265

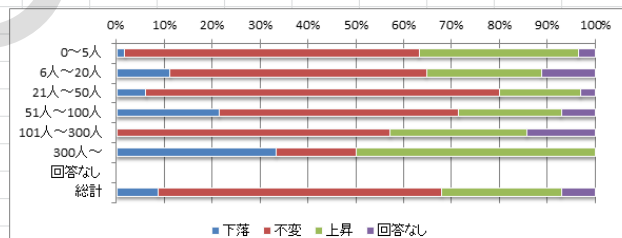
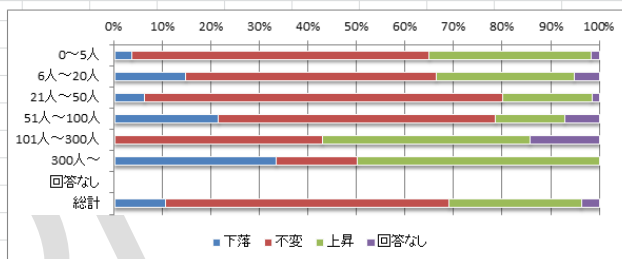
資本金別仕入単価(今後)先行き見通し(1月~3月)					
資本金	下落	不変	上昇	回答なし	総計
個人事業主		2	1		3
500万円以下	1	24	11	3	39
500万円超~1千万円以下	11	59	22	5	97
1千万円超~3千万円以下	8	47	18	5	78
3千万円超~5千万円以下		14	3	4	21
5千万円超~1億円以下	2	6	7		15
1億円超~	1	4	2	1	8
回答なし		1	2	1	4
総計	23	157	66	19	265



従業員数別仕入単価

従業員数別仕入単価(今期)10月~12月(7月~9月と比べ)					
従業員数	下落	不変	上昇	回答なし	総計
0~5人	2	35	19	1	57
6人~20人	17	60	33	6	116
21人~50人	4	48	12	1	65
51人~100人	3	8	2	1	14
101人~300人		3	3	1	7
300人~	2	1	3		6
回答なし					0
総計	28	155	72	10	265

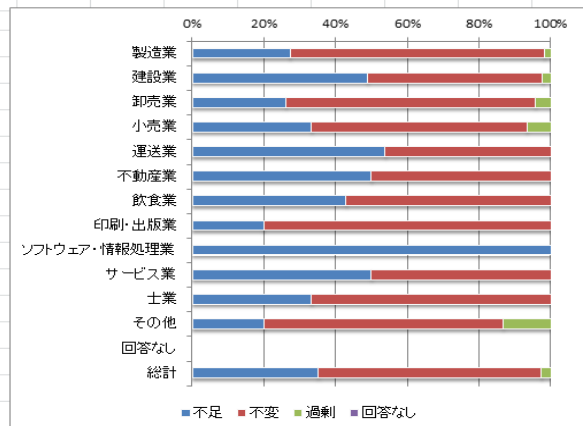
従業員数別仕入単価(今後)先行き見通し(1月~3月)					
従業員数	下落	不変	上昇	回答なし	総計
0~5人	1	35	19	2	57
6人~20人	13	62	28	13	116
21人~50人	4	48	11	2	65
51人~100人	3	7	3	1	14
101人~300人		4	2	1	7
300人~	2	1	3		6
回答なし					0
総計	23	157	66	19	265



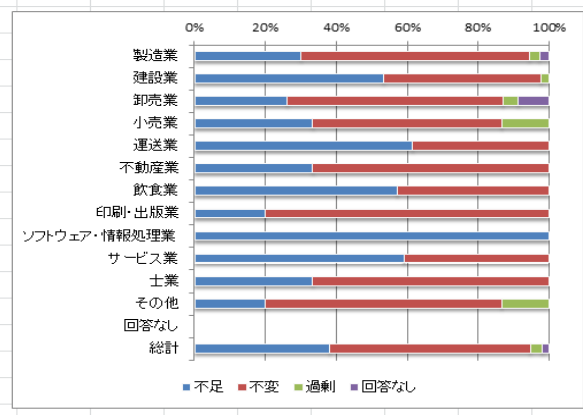
⑤属性別従業員

業種別従業員

業種	不足	不変	過剰	回答なし	総計
製造業	30	78	2		110
建設業	22	22	1		45
卸売業	6	16	1		23
小売業	5	9	1		15
運送業	7	6			13
不動産業	3	3			6
飲食業	3	4			7
印刷・出版業	1	4			5
ソフトウェア・情報処理業	1				1
サービス業	11	11			22
士業	1	2			3
その他	3	10	2		15
回答なし					0
総計	93	165	7	0	265

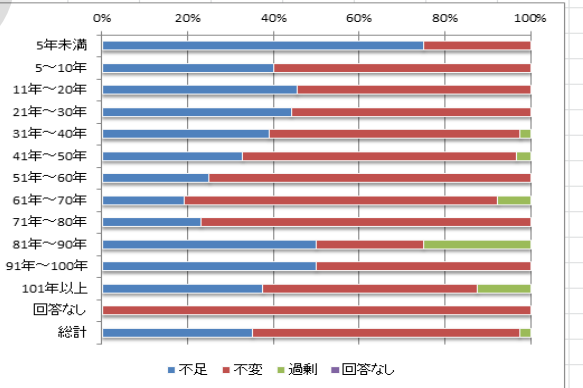


業種	不足	不変	過剰	回答なし	総計
製造業	33	71	3	3	110
建設業	24	20	1		45
卸売業	6	14	1	2	23
小売業	5	8	2		15
運送業	8	5			13
不動産業	2	4			6
飲食業	4	3			7
印刷・出版業	1	4			5
ソフトウェア・情報処理業	1				1
サービス業	13	9			22
士業	1	2			3
その他	3	10	2		15
回答なし					0
総計	101	150	9	5	265

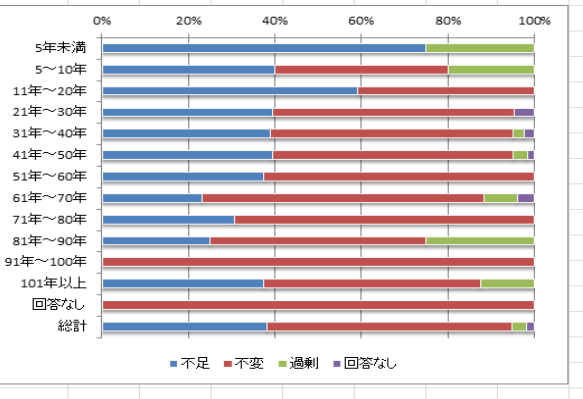


業歴別従業員

業歴	不足	不変	過剰	回答なし	総計
5年未満	3	1			4
5～10年	2	3			5
11年～20年	10	12			22
21年～30年	19	24			43
31年～40年	16	24	1		41
41年～50年	20	39	2		61
51年～60年	8	24			32
61年～70年	5	19	2		26
71年～80年	3	10			13
81年～90年	2	1	1		4
91年～100年	2	2			4
101年以上	3	4	1		8
回答なし		2			2
総計	93	165	7	0	265



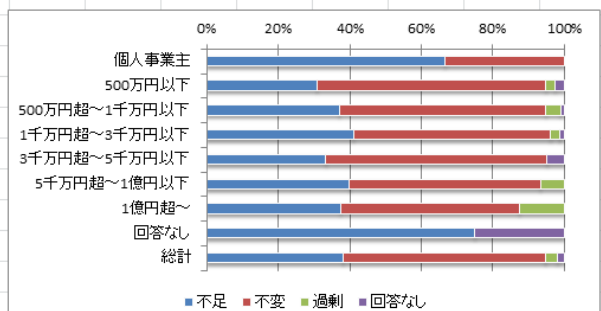
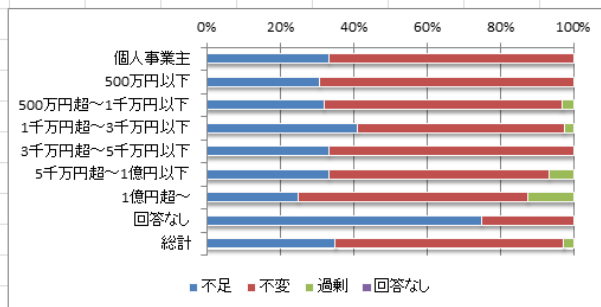
業歴	不足	不変	過剰	回答なし	総計
5年未満	3		1		4
5～10年	2	2	1		5
11年～20年	13	9			22
21年～30年	17	24		2	43
31年～40年	16	23	1	1	41
41年～50年	24	34	2	1	61
51年～60年	12	20			32
61年～70年	6	17	2	1	26
71年～80年	4	9			13
81年～90年	1	2	1		4
91年～100年		4			4
101年以上	3	4	1		8
回答なし		2			2
総計	101	150	9	5	265



資本金別従業員

資本金別従業員(今期)10月～12月(7月～9月と比べ)					
資本金	不足	不変	過剰	回答なし	総計
個人事業主	1	2			3
500万円以下	12	27			39
500万円超～1千万円以下	31	63	3		97
1千万円超～3千万円以下	32	44	2		78
3千万円超～5千万円以下	7	14			21
5千万円超～1億円以下	5	9	1		15
1億円超～	2	5	1		8
回答なし	3	1			4
総計	93	165	7	0	265

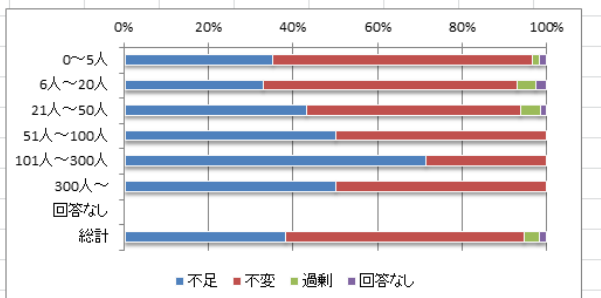
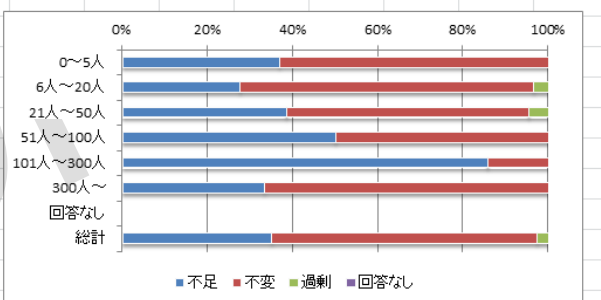
資本金別従業員(今後)先行き見通し(1月～3月)					
資本金	不足	不変	過剰	回答なし	総計
個人事業主	2	1			3
500万円以下	12	25	1	1	39
500万円超～1千万円以下	36	56	4	1	97
1千万円超～3千万円以下	32	43	2	1	78
3千万円超～5千万円以下	7	13		1	21
5千万円超～1億円以下	6	8	1		15
1億円超～	3	4	1		8
回答なし	3			1	4
総計	101	150	9	5	265



従業員数別従業員

従業員数別仕入単価(今期)10月～12月(7月～9月と比べ)					
従業員数	不足	不変	過剰	回答なし	総計
0～5人	21	36			57
6人～20人	32	80	4		116
21人～50人	25	37	3		65
51人～100人	7	7			14
101人～300人	6	1			7
300人～	2	4			6
回答なし					0
総計	93	165	7	0	265

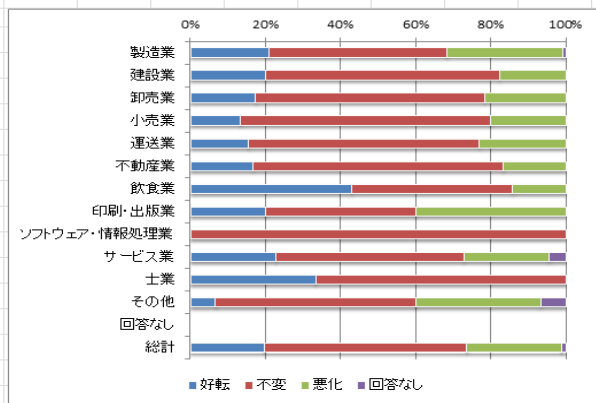
従業員数別従業員(今後)先行き見通し(1月～3月)					
従業員数	不足	不変	過剰	回答なし	総計
0～5人	20	35	1	1	57
6人～20人	38	70	5	3	116
21人～50人	28	33	3	1	65
51人～100人	7	7			14
101人～300人	5	2			7
300人～	3	3			6
回答なし					0
総計	101	150	9	5	265



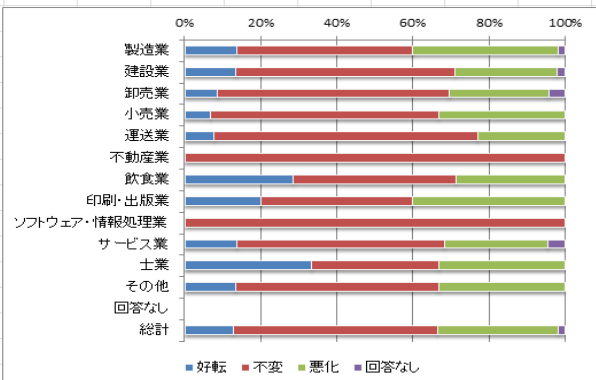
⑥属性別景況感（業況）

業種別業況

業種別業況(今期)10月～12月(7月～9月と比べ)					
業種	好転	不変	悪化	回答なし	総計
製造業	23	52	34	1	110
建設業	9	28	8		45
卸売業	4	14	5		23
小売業	2	10	3		15
運送業	2	8	3		13
不動産業	1	4	1		6
飲食業	3	3	1		7
印刷・出版業	1	2	2		5
ソフトウェア・情報処理業		1			1
サービス業	5	11	5	1	22
土業	1	2			3
その他	1	8	5	1	15
回答なし					0
総計	52	143	67	3	265

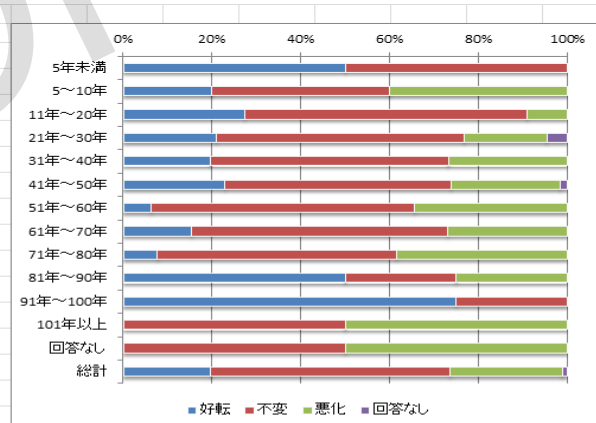


業種別業況(今後)先行き見通し(1月～3月)					
業種	好転	不変	悪化	回答なし	総計
製造業	15	51	42	2	110
建設業	6	26	12	1	45
卸売業	2	14	6	1	23
小売業	1	9	5		15
運送業	1	9	3		13
不動産業		6			6
飲食業	2	3	2		7
印刷・出版業	1	2	2		5
ソフトウェア・情報処理業		1			1
サービス業	3	12	6	1	22
土業	1	1	1		3
その他	2	8	5		15
回答なし					0
総計	34	142	84	5	265

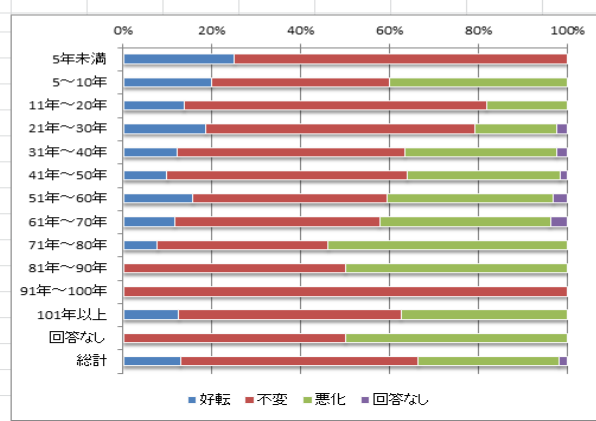


業歴別業況

業歴別業況(今期)10月～12月(7月～9月と比べ)					
業歴	好転	不変	悪化	回答なし	総計
5年未満	2	2			4
5～10年	1	2	2		5
11年～20年	6	14	2		22
21年～30年	9	24	8	2	43
31年～40年	8	22	11		41
41年～50年	14	31	15	1	61
51年～60年	2	19	11		32
61年～70年	4	15	7		26
71年～80年	1	7	5		13
81年～90年	2	1	1		4
91年～100年	3	1			4
101年以上		4	4		8
回答なし		1	1		2
総計	52	143	67	3	265



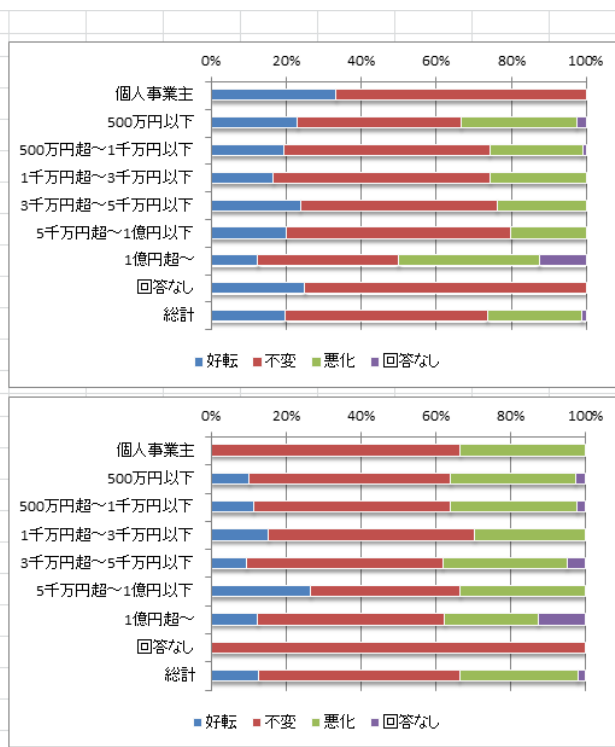
業歴別業況(今後)先行き見通し(1月～3月)					
業歴	好転	不変	悪化	回答なし	総計
5年未満	1	3			4
5～10年	1	2	2		5
11年～20年	3	15	4		22
21年～30年	8	26	8	1	43
31年～40年	5	21	14	1	41
41年～50年	6	33	21	1	61
51年～60年	5	14	12	1	32
61年～70年	3	12	10	1	26
71年～80年	1	5	7		13
81年～90年		2	2		4
91年～100年		4			4
101年以上	1	4	3		8
回答なし		1	1		2
総計	34	142	84	5	265



資本金別業況

資本金別業況(今期)10月～12月(7月～9月と比べ)					
資本金	好転	不変	悪化	回答なし	総計
個人事業主	1	2			3
500万円以下	9	17	12	1	39
500万円超～1千万円以下	19	53	24	1	97
1千万円超～3千万円以下	13	45	20		78
3千万円超～5千万円以下	5	11	5		21
5千万円超～1億円以下	3	9	3		15
1億円超～	1	3	3	1	8
回答なし	1	3			4
総計	52	143	67	3	265

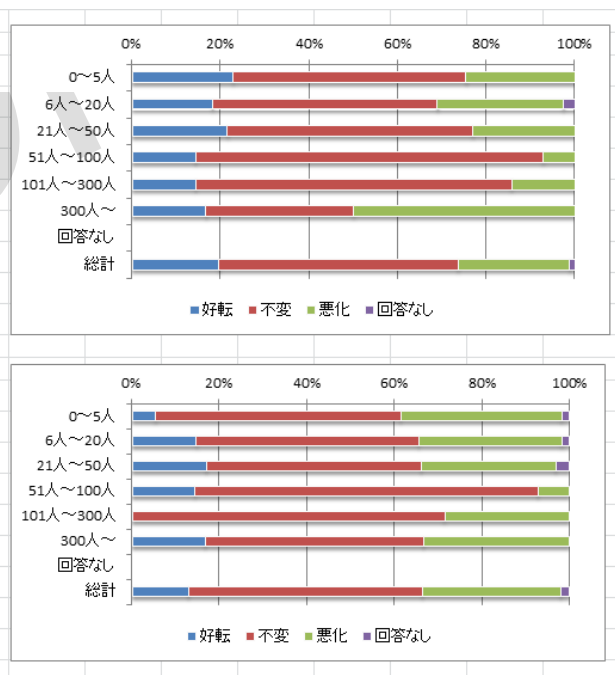
資本金別業況(今後)先行き見通し(1月～3月)					
資本金	好転	不変	悪化	回答なし	総計
個人事業主		2	1		3
500万円以下	4	21	13	1	39
500万円超～1千万円以下	11	51	33	2	97
1千万円超～3千万円以下	12	43	23		78
3千万円超～5千万円以下	2	11	7	1	21
5千万円超～1億円以下	4	6	5		15
1億円超～	1	4	2	1	8
回答なし		4			4
総計	34	142	84	5	265



従業員数別業況

従業員数別業況(今期)10月～12月(7月～9月と比べ)					
従業員数	好転	不変	悪化	回答なし	総計
0～5人	13	30	14		57
6人～20人	21	59	33	3	116
21人～50人	14	36	15		65
51人～100人	2	11	1		14
101人～300人	1	5	1		7
300人～	1	2	3		6
回答なし					0
総計	52	143	67	3	265

従業員数別業況(今後)先行き見通し(1月～3月)					
従業員数	好転	不変	悪化	回答なし	総計
0～5人	3	32	21	1	57
6人～20人	17	59	38	2	116
21人～50人	11	32	20	2	65
51人～100人	2	11	1		14
101人～300人		5	2		7
300人～	1	3	2		6
回答なし					0
総計	34	142	84	5	265

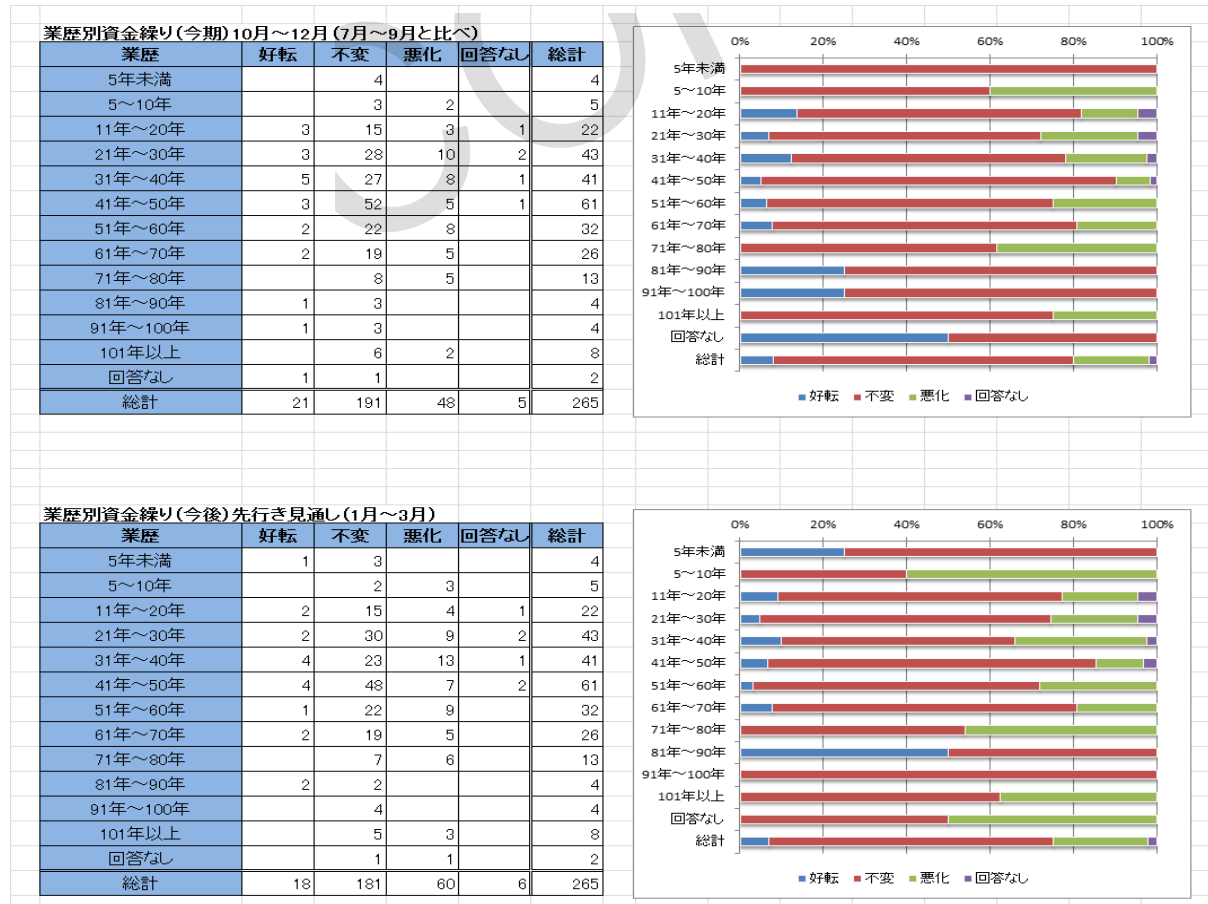


⑦属性別景況感（資金繰り）

業種別資金繰り

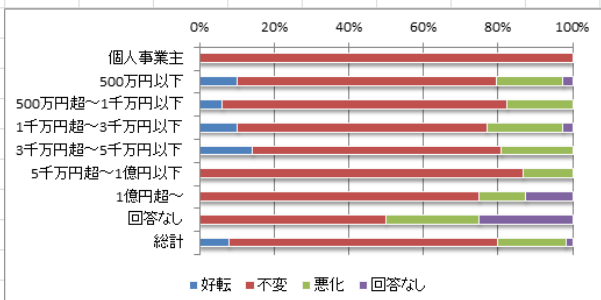


業歴別資金繰り

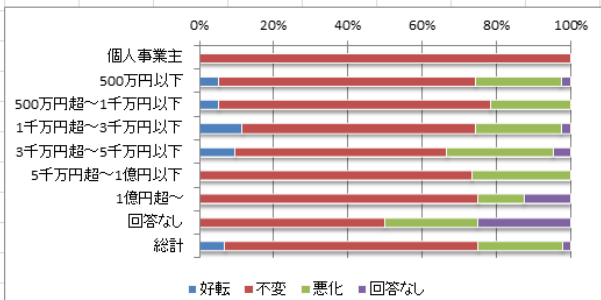


資本金別資金繰り

資本金別資金繰り(今期)10月～12月(7月～9月と比べ)					
資本金	好転	不変	悪化	回答なし	総計
個人事業主		3			3
500万円以下	4	27	7	1	39
500万円超～1千万円以下	6	74	17		97
1千万円超～3千万円以下	8	52	16	2	78
3千万円超～5千万円以下	3	14	4		21
5千万円超～1億円以下		13	2		15
1億円超～		6	1	1	8
回答なし		2	1	1	4
総計	21	191	48	5	265

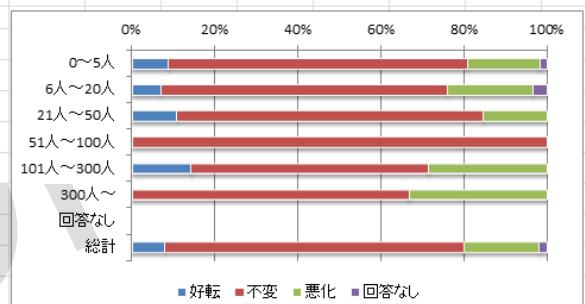


資本金別資金繰り(今後)先行き見通し(1月～3月)					
資本金	好転	不変	悪化	回答なし	総計
個人事業主		3			3
500万円以下	2	27	9	1	39
500万円超～1千万円以下	5	71	21		97
1千万円超～3千万円以下	9	49	18	2	78
3千万円超～5千万円以下	2	12	6	1	21
5千万円超～1億円以下		11	4		15
1億円超～		6	1	1	8
回答なし		2	1	1	4
総計	18	181	60	6	265

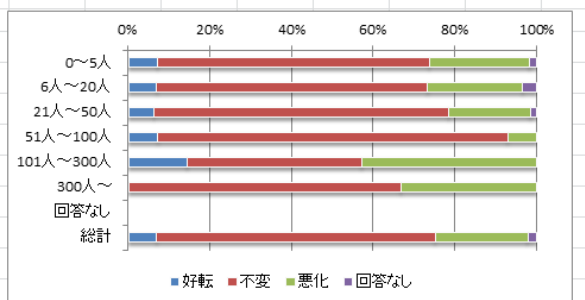


従業員数別資金繰り

従業員数別資金繰り(今期)10月～12月(7月～9月と比べ)					
従業員数	好転	不変	悪化	回答なし	総計
0～5人	5	41	10	1	57
6人～20人	8	80	24	4	116
21人～50人	7	48	10		65
51人～100人		14			14
101人～300人	1	4	2		7
300人～		4	2		6
回答なし					0
総計	21	191	48	5	265



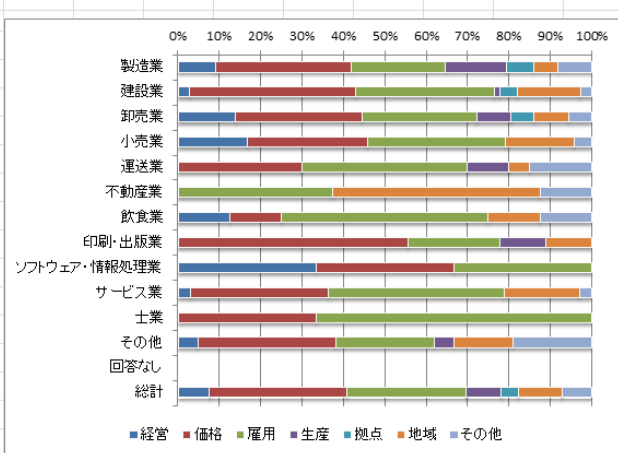
従業員数別資金繰り(今後)先行き見通し(1月～3月)					
従業員数	好転	不変	悪化	回答なし	総計
0～5人	4	38	14	1	57
6人～20人	8	77	27	4	116
21人～50人	4	47	13	1	65
51人～100人	1	12	1		14
101人～300人	1	3	3		7
300人～		4	2		6
回答なし					0
総計	18	181	60	6	265



⑧属性別 経営上の問題等、地域の課題等

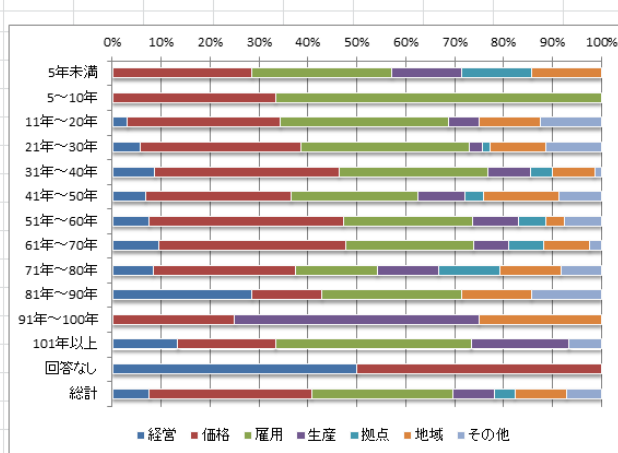
業種別 問題点や地域の課題

業種	経営	価格	雇用	生産	拠点	地域	その他
製造業	18	65	45	29	13	12	16
建設業	2	29	24	1	3	11	2
卸売業	5	11	10	3	2	3	2
小売業	4	7	8	0	0	4	1
運送業	0	6	8	2	0	1	3
不動産業	0	0	3	0	0	4	1
飲食業	1	1	4	0	0	1	1
印刷・出版業	0	5	2	1	0	1	0
ソフトウェア・情報処理業	1	1	1	0	0	0	0
サービス業	1	11	14	0	0	6	1
土業	0	1	2	0	0	0	0
その他	1	7	5	1	0	3	4
回答なし							
総計	33	144	126	37	18	46	31



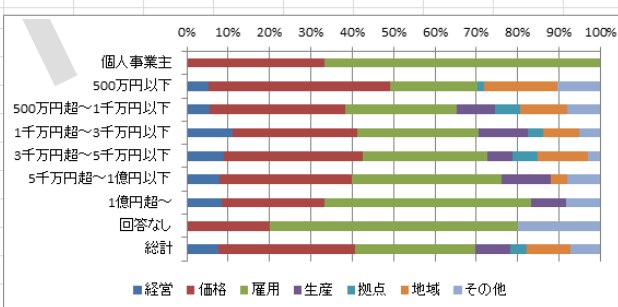
業歴別 問題点や地域の課題

業歴	経営	価格	雇用	生産	拠点	地域	その他
5年未満	0	2	2	1	1	1	0
5～10年	0	2	4	0	0	0	0
11年～20年	1	10	11	2	0	4	4
21年～30年	4	23	24	2	1	8	8
31年～40年	6	26	21	6	3	6	1
41年～50年	7	31	27	10	4	16	9
51年～60年	4	21	14	5	3	2	4
61年～70年	4	16	11	3	3	4	1
71年～80年	2	7	4	3	3	3	2
81年～90年	2	1	2	0	0	1	1
91年～100年	0	1	0	2	0	1	0
101年以上	2	3	6	3	0	0	1
回答なし	1	1	0	0	0	0	0
総計	33	144	126	37	18	46	31



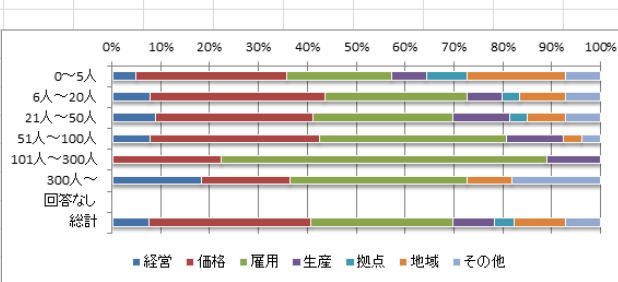
資本金別 問題点や地域の課題

資本金	経営	価格	雇用	生産	拠点	地域	その他
個人事業主	0	1	2	0	0	0	0
500万円以下	3	25	12	0	1	10	6
500万円超～1千万円以下	9	54	44	15	10	19	13
1千万円超～3千万円以下	15	41	40	16	5	12	7
3千万円超～5千万円以下	3	11	10	2	2	4	1
5千万円超～1億円以下	2	8	9	3	0	1	2
1億円超～	1	3	6	1	0	0	1
回答なし	0	1	3	0	0	0	1
総計	33	144	126	37	18	46	31



従業員数別 問題点や地域の課題

従業員数	経営	価格	雇用	生産	拠点	地域	その他
0～5人	4	26	18	6	7	17	6
6人～20人	15	69	56	14	7	18	14
21人～50人	10	36	32	13	4	9	8
51人～100人	2	9	10	3	0	1	1
101人～300人	0	2	6	1	0	0	0
300人～	2	2	4	0	0	1	2
回答なし	0	0	0	0	0	0	0
総計	33	144	126	37	18	46	31



第4回 川口商工会議所リアルタイム景況調査へのご協力のお願い (案)

平成28年1月27日

会員の皆様へ

日ごろより、本商工会議所のリアルタイム景況調査にご協力いただき厚くお礼申し上げます。

さて、第4回リアルタイム景況調査を実施いたしますので、お忙しいところ、誠に恐縮ですが、該当部分にチェックのうえ、**2月2日(火)まで**に、ファックスにてご返信いただきますようお願いいたします。

皆様のご協力のもと、本調査結果につきましては、引続き本市中小企業支援や行政への意見要望等の参考とさせていただきます。また、第2回調査結果につきましては、本商工会議所ホームページに掲載しておりますのでご参照ください。 <http://www.kawaguchicci.or.jp/realtime/>

川口商工会議所

----- アンケート調査票 -----

問1 貴社の状況について、お伺いします。(1)～(5)についてそれぞれ該当する番号をご回答ください。

(1) 業種 売上比率の高い業種を1つお選びください。

1	製造業	2	建設業	3	卸売業	4	小売業
5	運輸業	6	不動産業	7	飲食業	8	印刷・出版業
9	ソフトウェア・情報処理業	10	サービス業	11	士業		
12	その他 ()						

(2) 業歴

1	5年未満	2	5～10年	3	11年～20年	4	21年～30年
5	31年～40年	6	41年～50年	7	51年～60年	8	61年～70年
9	71年～80年	10	81年～90年	11	91年～100年	12	101年以上

(3) 資本金

1	個人事業主	2	500万円以下	3	500万円超～1千万円以下
4	1千万円超～3千万円以下	5	3千万円超～5千万円以下	6	5千万円超～1億円以下
7	1億円超～				

(4) 従業員数 (役員を除き常時使用する従業員)

1	0～5人	2	6人～20人	3	21人～50人
4	51人～100人	5	101～300人	6	301人～

(5) 収益状況 (直近の決算、それ以外は今期の見込み)

1	黒字	2	収支トントン	3	赤字
---	----	---	--------	---	----

問2 貴社の景況感について、回答できる範囲で、該当部分に☑チェックをご記入ください。

*設問の「今期」は 平成27年10月～12月としてお答えください。

1	売上高	(1) 今期 (7月～9月と比べ)	<input type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 減少
		(2) 今後の先行き見通し (1月～3月)	<input type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 減少
2	採算	(1) 今期 (7月～9月と比べ)	<input type="checkbox"/> 好転	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 悪化
		(2) 今後の先行き見通し (1月～3月)	<input type="checkbox"/> 好転	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 悪化
3	仕入単価	(1) 今期 (7月～9月と比べ)	<input type="checkbox"/> 下落	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 上昇
		(2) 今後の先行き見通し (1月～3月)	<input type="checkbox"/> 下落	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 上昇
4	従業員	(1) 今期 (7月～9月と比べ)	<input type="checkbox"/> 不足	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 過剰
		(2) 今後の先行き見通し (1月～3月)	<input type="checkbox"/> 不足	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 過剰
5	業況	(1) 今期 (7月～9月と比べ)	<input type="checkbox"/> 好転	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 悪化
		(2) 今後の先行き見通し (1月～3月)	<input type="checkbox"/> 好転	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 悪化
6	資金繰り	(1) 今期 (7月～9月と比べ)	<input type="checkbox"/> 好転	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 悪化
		(2) 今後の先行き見通し (1月～3月)	<input type="checkbox"/> 好転	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 悪化

問3 労働力の確保

問2-4「従業員」において今期「不足」と回答された方にお聞きします。

(1) どの職種で人材が不足していますか。

- 1 : 営業職
- 2 : 事務職
- 3 : 技術職
- 4 : 販売・サービス系食所
- 5 : その他

()

(2) 御社の人材不足を補完する方法を教えてください。

- 1 : 派遣社員の活用
- 2 : アルバイトの活用
- 3 : 外注に対応
- 4 : その他

()

問4 現在(1月25日現在)、円は118円台後半で安値で推移しています。また、原油についても安値で推移しておりますが、御社への影響をお聞かせください。

()

問5 自社が直面している経営上の問題等や地域の課題等、該当の項目に、チェックをご記入ください。(複数選択可)

- 1 : 円相場に伴う経営への影響・見通し
- 2 : 受注単価・販売価格の動向
- 3 : 雇用の状況
- 4 : 生産・出荷・在庫・輸出の状況
- 5 : 生産拠点の国内回帰の動き
- 6 : 地域経済や地域産業の新たな動き
- 7 : その他 ()

ご協力ありがとうございました。